

内閣府平成 30 年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等  
に関する調査

調査結果（速報版）

2018 年 10 月

株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。



## < 目次 >

1．調査の概要・回答者属性.....	1
（1）調査の概要.....	1
（2）回答者属性.....	2
（3）ウエイトによる補正.....	4
2．就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等.....	7
（1）就職活動時期に関する認識の状況.....	7
（2）就職活動時期に関する認識.....	10
（3）就職活動と学修時間確保の状況.....	11
3．就職活動内容.....	13
（1）企業の広報活動開始前の活動状況.....	13
（2）業界や企業に関する分析を開始した時期.....	14
（3）企業説明会やセミナー等の参加状況.....	16
（4）エントリーシートの提出状況.....	21
（5）採用面接の実施状況.....	26
（6）内々定の状況・内々定の時期.....	32
（7）就職活動の始まりと終わりの認識.....	35
（8）インターンシップの参加状況.....	41
4．企業による学業などに対する配慮の状況等.....	48
（1）履修履歴（成績証明書など）の提出の状況.....	48
（2）採用面接の際の学業や成績等への評価.....	50
（3）就職活動の日程・時間帯等に関する配慮.....	51
（4）遠隔地への就職活動への配慮.....	53
（5）クールビズでの対応.....	54
（6）留学経験者への配慮.....	55
（7）教育実習受講者への配慮.....	59
（8）ハラスメント的な行為の状況.....	63



# 1 . 調査の概要・回答者属性

## ( 1 ) 調査の概要

### 調査の目的

本調査は、2018 年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

### 調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の約 60 の大学に協力いただき、それらの大学から、大学 4 年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2 年生<sup>1</sup>にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した<sup>2</sup>。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、2018 年 7 月 13 日から 8 月 10 日までの間開設した。

### 回答状況

対象学年別の有効回答件数は図表 1-1 の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

図表 1-1 学年別の有効回答件数

対象	大学 4 年生	大学院 2 年生	合計
有効回答件数	7,575	2,268	9,843

学年について「その他」と回答があった 105 件については有効回答の対象外とした。

<sup>1</sup> 以下「大学院 2 年生」と表記する。

<sup>2</sup> 本調査は、全国の約 60 の大学について、原則として対象学年の全学生に対し調査の案内をしていただくように依頼をしたが、調査依頼を行う大学のなかには、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生が多く在籍する大学があると想定された。医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生は、就職・採用選考活動に関してその他の学生とは異なる動きとなる場合が多いと予想されたが、これらの学生が調査対象全体に占める割合を母集団の分布等に基づいて事後的に調整を行うことが困難であると考えられたため、あらかじめ調査対象外とすることとした。なお、本資料では 2015 年度に実施した「就職・採用活動時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」(以下、「2015 年度調査」と表記) 2016 年度に実施した「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」(以下、「2016 年度調査」と表記) 2017 年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」(以下、「2017 年度調査」と表記)との比較をしているが、2016 年度調査・2017 年度調査においても同様の方法で実施している。2015 年度調査では医学科等の学生や留学生も調査対象に含めているが、2015 年度調査は調査依頼を行っていただく学生の人数を各大学に割り当て、対象学生は各大学で抽出してもらうという方法をとっている。また、抽出の際の男女比や文系・理系の比率は大学全体の構成比と同率にさせていただくよう依頼を行っており、2015 年度調査において医学科等の学生や留学生が母集団との関係において過度に多く含まれてしまうことは生じていないものと想定される。

## (2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、性別、大学・大学院の設置主体、専攻、大学・大学院の所在地域による割合を、対象学年別に図表 1-2～図表 1-5 に示し、それぞれ右欄に 2018 年度の学校基本調査<sup>3</sup>（文部科学省調べ）の情報（速報値）について掲載した<sup>4</sup>。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学 4 年生で「女性」からの回答割合が高くなっており、大学院 2 年生では大学・大学院の設置主体について「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている状況にあることが把握される。

図表 1-2 性別

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)
男性	45.7%	56.4%	72.6%	68.5%
女性	54.3%	43.6%	27.4%	31.5%
集計度数	7,575	666,040	2,268	84,494

図表 1-3 大学・大学院の設置主体

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)
国立	19.5%	18.1%	67.9%	58.9%
公立	3.3%	5.3%	6.0%	6.5%
私立	77.1%	77.2%	26.1%	34.6%
集計度数	7,575	666,040	2,268	84,494

<sup>3</sup> 学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査である。

<sup>4</sup> 調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。ただし、性別や設置主体別、地域別のデータについては、一部「保健」を専攻している学生を取り除いた値の算出が困難であったことから、「保健」の者も含めた値を参照している。（図表 1-4 は「保健」専攻の学生を除いた値、図表 1-2、図表 1-3、図表 1-5 は「保健」専攻の学生を含めた値）

図表 1-4 専攻

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査	2018 年度 学校基本調査 (速報値)
人文科学	21.7%	16.5%	4.8%	7.5%
社会科学	46.5%	37.4%	7.5%	11.0%
理学	5.8%	3.6%	29.3%	9.3%
工学	10.0%	17.5%	42.3%	43.2%
農学	2.2%	3.3%	9.4%	5.7%
保健	2.3%		1.4%	
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.2%	3.1%	0.3%	0.6%
教育	3.5%	8.4%	1.6%	6.0%
芸術	0.6%	2.9%	0.6%	2.9%
その他	6.0%	7.3%	2.9%	13.8%
文系	79.6%	75.6%	17.5%	41.7%
理系	20.4%	24.4%	82.5%	58.3%
集計度数	7,575	597,515	2,268	78,070

「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

図表 1-5 大学・大学院の所在地域

	大学生		大学院生	
	本調査 (大学 4 年生)	2018 年度 学校基本調査 (速報値)	本調査 (大学院 2 年生)	2018 年度 学校基本調査 (速報値)
北海道・東北	5.0%	7.2%	14.3%	8.7%
関東	35.8%	43.9%	42.4%	42.4%
中部	10.8%	12.8%	1.3%	13.1%
近畿	31.0%	21.1%	25.3%	20.2%
中国・四国	8.3%	6.6%	11.3%	7.1%
九州・沖縄	9.0%	8.3%	5.4%	8.5%
集計度数	7,575	2,599,805	2,268	254,037

「北海道・東北」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県が該当する

「関東」は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が該当する

「中部」は、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県が該当する

「近畿」は、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県が該当する

「中国・四国」は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県が該当する

「九州・沖縄」は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県が該当する

### (3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられたことから、実態について集計結果を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましいと考えられた。そこで、本調査では、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。

なお、2015年度調査から2017年度調査においては、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際にも、学校基本調査の在学者数を基にしたウェイトによりデータの補正を行うこととし、2015年度調査から2017年度調査についても、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計結果を示す際には、同様の方法により集計を行った。

分類別のウェイト値は、大学4年生・大学院2年生を合わせた集計結果を示す場合と、別々に示す場合とで、それぞれ図表1-6と図表1-7に示したように設定をした。また、性別、大学・大学院の設置主体、専攻、大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は図表1-8～図表1-11のようになっている<sup>5</sup>。

これらから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる<sup>6</sup>。ただし、専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている状況にある。

図表 1-6 大学生・大学院生をまとめて集計する際のウェイト値

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.9041	1.1570
		理系	1.8761	0.3556
	公立	文系	1.8667	1.6161
		理系	1.7591	0.3731
	私立	文系	1.4876	0.9853
		理系	1.5726	0.4810
女性	国立	文系	0.7507	1.0207
		理系	0.8098	0.1748
	公立	文系	1.6110	2.2685
		理系	1.0242	0.2701
	私立	文系	0.8824	1.7436
		理系	0.7550	0.4840

ウェイト値について四捨五入の上小数点以下第4位まで掲載しているが、実際には小数点以下第15位までの値に基づいてウェイト付けを行っている。

<sup>5</sup> ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合(%)は、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

<sup>6</sup> 専攻の内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。このことにより、ウェイト補正後の「性別」「大学・大学院の設置主体別」の分布について、図表1-2、図表1-3に掲載した構成比とは若干異なる値になっている。



図表 1-7 大学生・大学院生を別々に集計する際のウエイト値

本調査			大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	国立	文系	0.7867	2.3070
		理系	1.6325	0.7089
	公立	文系	1.6243	3.2224
		理系	1.5307	0.7438
	私立	文系	1.2944	1.9647
		理系	1.3684	0.9591
女性	国立	文系	0.6532	2.0352
		理系	0.7046	0.3486
	公立	文系	1.4018	4.5233
		理系	0.8912	0.5385
	私立	文系	0.7678	3.4765
		理系	0.6570	0.9651

ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第 4 位まで掲載しているが、実際には小数点以下第 15 位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

図表 1-8 性別（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	60.1%	58.7%	70.6%
女性	39.9%	41.3%	29.4%
集計度数	9,843	7,575	2,268

図表 1-9 大学・大学院の設置主体（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学 4 年生	大学院 2 年生
国立	22.9%	18.1%	59.1%
公立	5.0%	4.8%	6.5%
私立	72.1%	77.1%	34.4%
集計度数	9,843	7,575	2,268

図表 1-10 専攻（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
人文科学	18.5%	19.3%	11.9%
社会科学	43.2%	46.6%	17.4%
理学	8.4%	6.8%	20.7%
工学	15.1%	12.9%	31.4%
農学	2.6%	2.2%	5.4%
保健	2.2%	2.4%	0.8%
商船	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.0%	1.0%	0.9%
教育	2.8%	2.8%	3.4%
芸術	0.7%	0.6%	1.5%
その他	5.5%	5.4%	6.7%
文系	71.7%	75.6%	41.7%
理系	28.3%	24.4%	58.3%
集計度数	9,843	7,575	2,268

図表 1-11 大学・大学院の所在地域（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
北海道・東北	5.7%	5.0%	10.8%
関東	37.5%	36.5%	44.9%
中部	9.7%	10.7%	2.1%
近畿	30.8%	31.1%	28.6%
中国・四国	7.8%	7.6%	9.0%
九州・沖縄	8.5%	9.0%	4.7%
集計度数	9,843	7,575	2,268

以降では、ウエイト補正後のデータに基づき、2. 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等、3. 就職活動内容、4. 企業による学業などに対する配慮の状況等について集計を行った。

なお、原則として大学4年生・大学院2年生を合わせて集計をした結果と、別々に集計した結果の両方を掲載した。また、2015年度調査、2016年度調査、2017年度調査<sup>7</sup>との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

ほとんどの設問は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の設問は「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。このほか、一部の回答者を除いて集計をしている設問があるが、これらの点はページ下部の注釈にて説明を記載した。

<sup>7</sup> これら3ヶ年の調査を合わせて「過年度調査」と表記する。また、今回2018年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。なお、2016年度調査、2017年度調査、今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

## 2. 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

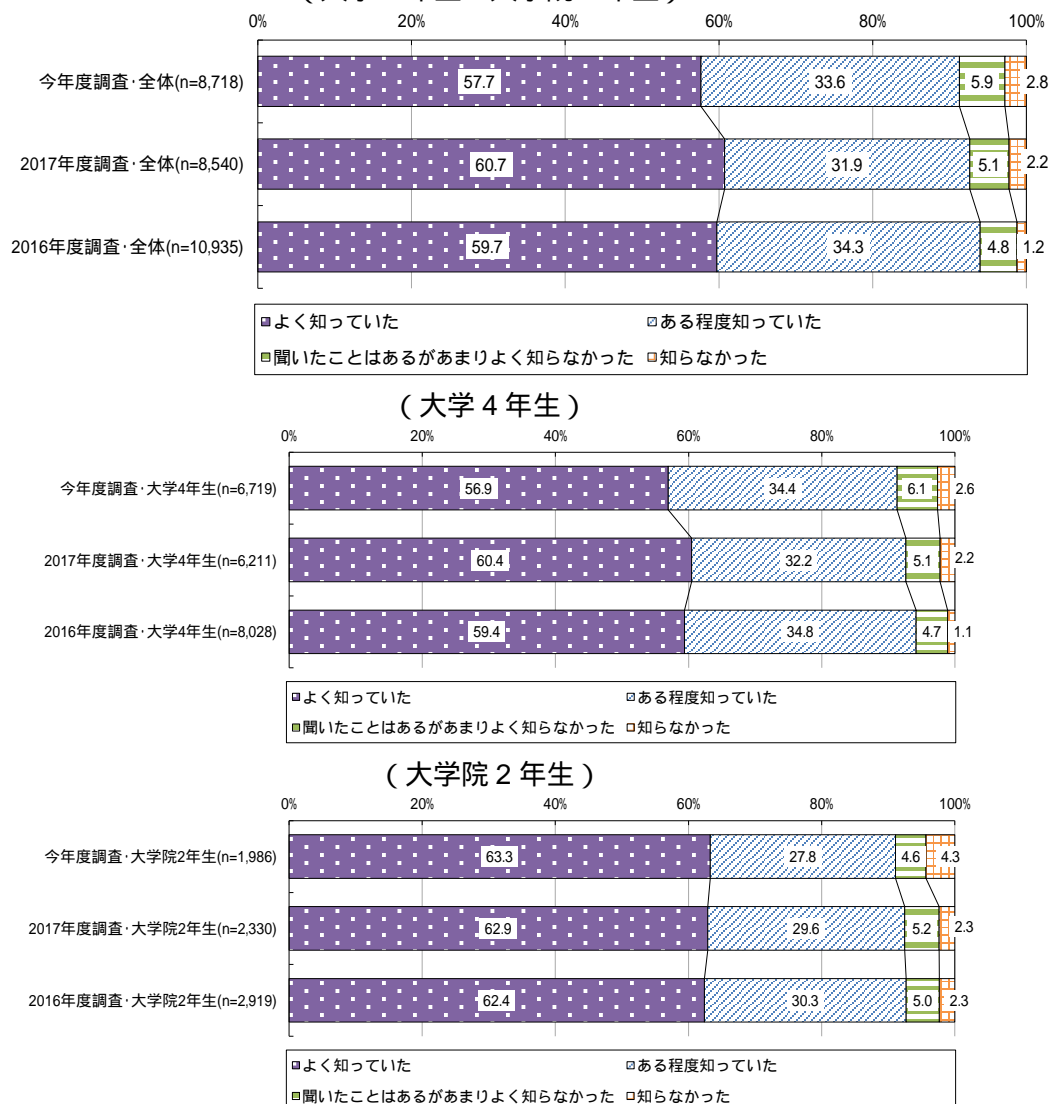
### (1) 就職活動時期に関する認知の状況

#### 就職活動時期に関する認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて、「よく知っていた」との回答は約6割となっており、「ある程度知っていた」の回答との合計は9割以上になっている。

2016年度調査・2017年度調査と比較すると、ほぼ同様の回答結果となっている<sup>8</sup>。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度  
(大学4年生・大学院2年生)



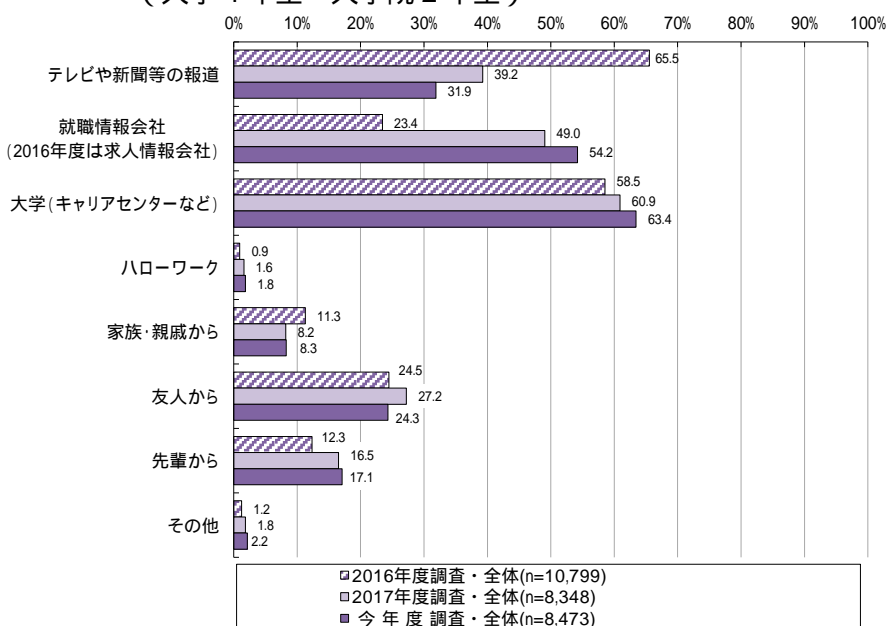
<sup>8</sup> いずれの年度の調査も、「就職活動を行った（終わった）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。なお、2016年度調査は就職活動時期変更について知っていたかをたずねた設問となっている。2015年度調査でも就職活動時期に関する認知度を把握するための設問はあるが、他の年度とは異なる聞き方となっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

## 就職活動の時期に関する情報源

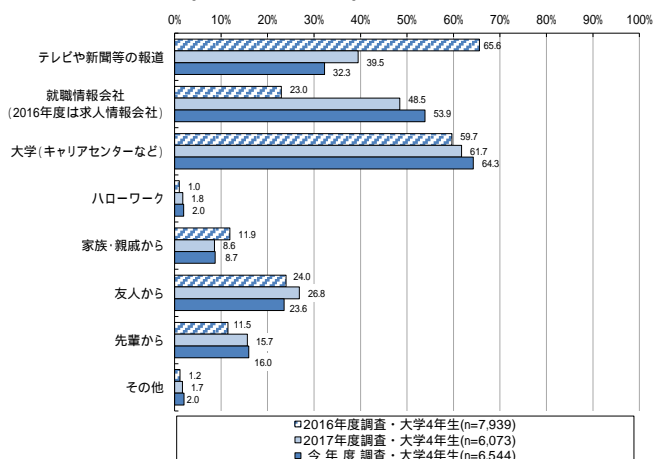
どのようなルートで就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>9</sup>、「大学(キャリアセンターなど)」の回答が6割以上と最も高く、次いで「就職情報会社」の割合が高くなっている。

2016年度調査・2017年度調査と比較すると、「就職情報会社」や「大学(キャリアセンターなど)」の割合が高まっている<sup>10</sup>。

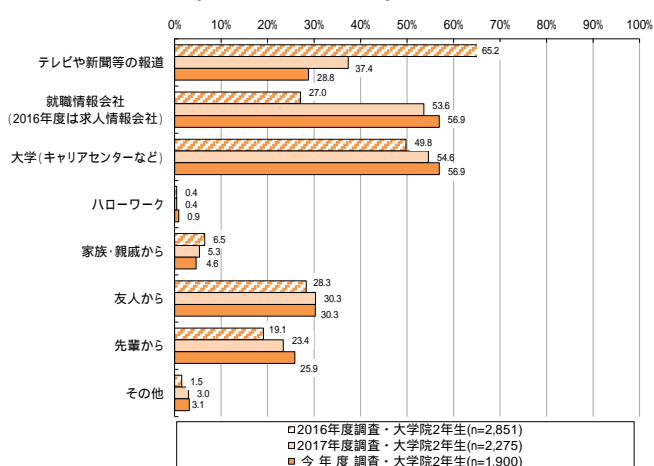
図表 2-1-2 就職活動時期に関する情報源(複数回答)  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



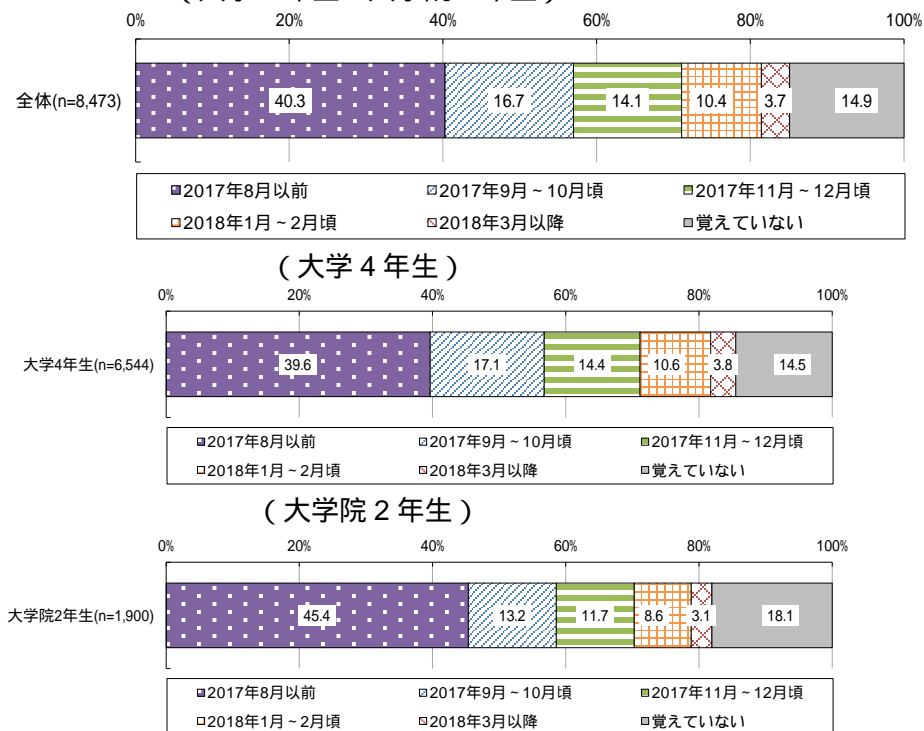
<sup>9</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>10</sup> 2016年度調査は就職活動時期変更に関する情報をどのようなルートで知ったかをたずねた設問となっている。2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## 就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>11</sup>、「2017年8月以前」の割合が最も高く、約4割となっている。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報を知った時期  
(大学4年生・大学院2年生)

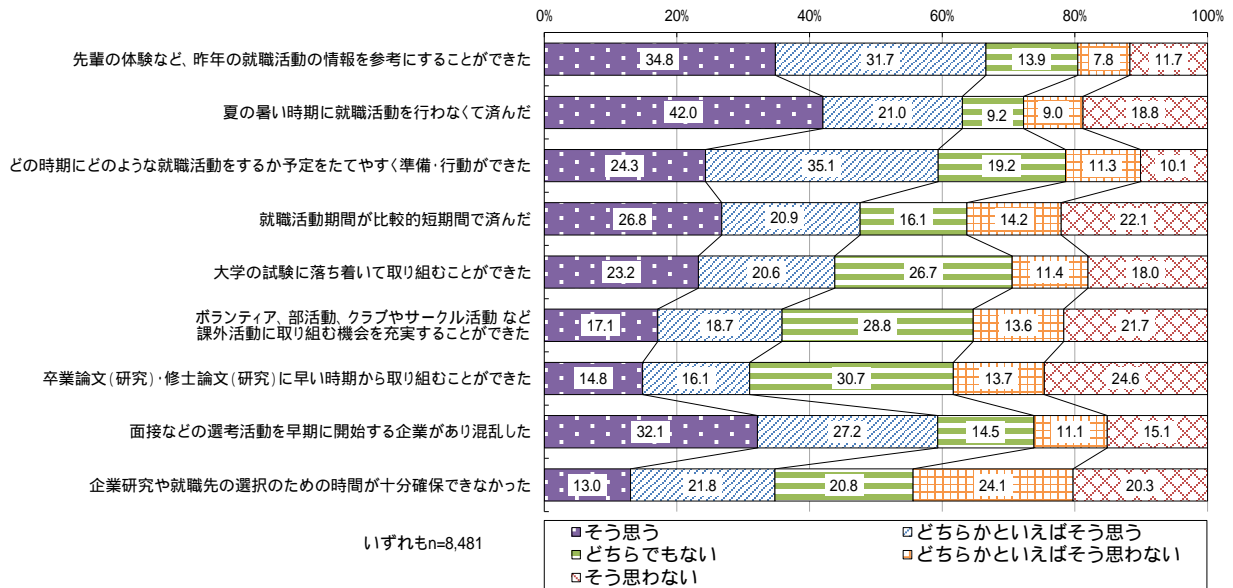


<sup>11</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

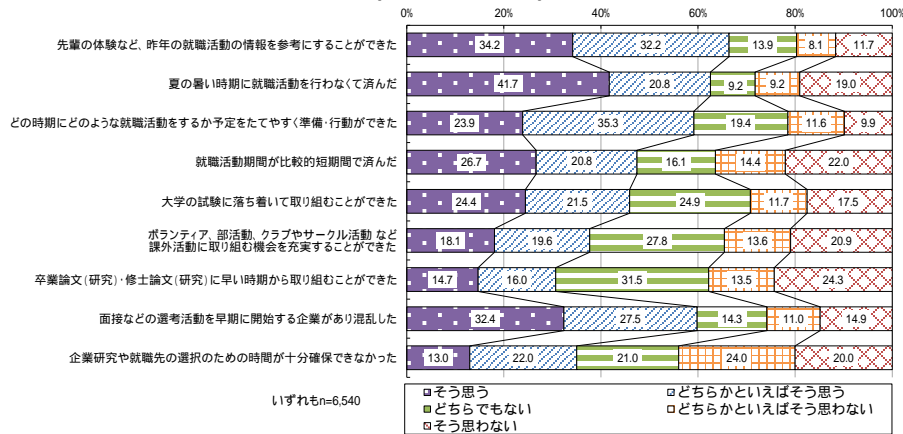
## (2) 就職活動時期に関する認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」などの点で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が6割以上と比較的高かった一方で、「面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」についても同様の回答割合が高かった。

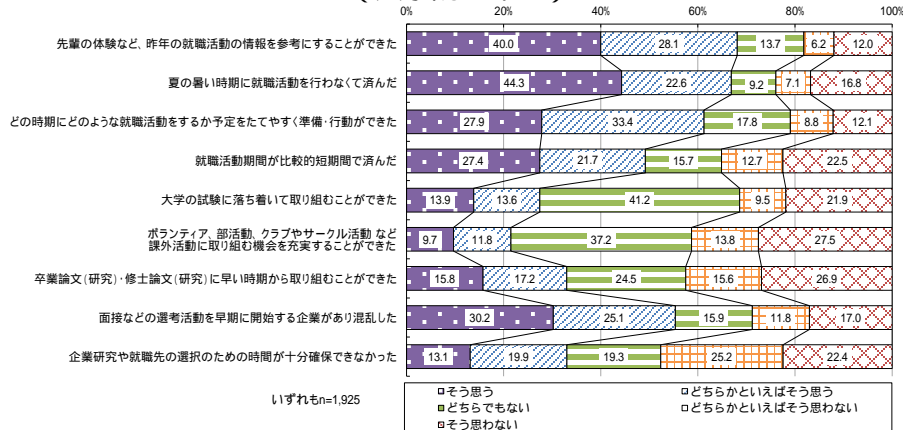
図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)

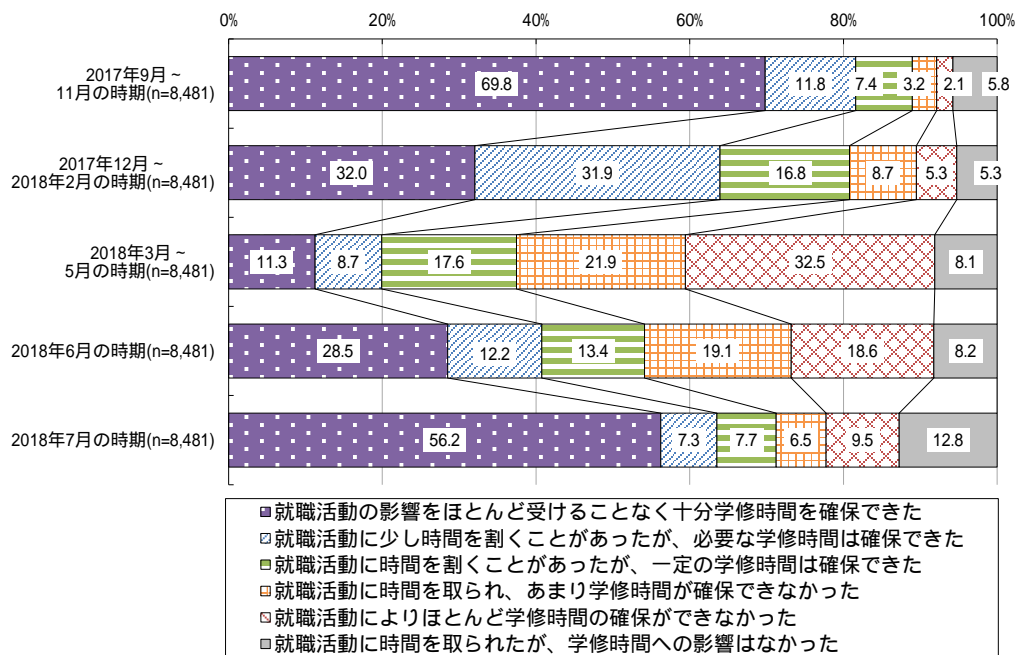


### (3) 就職活動と学修時間確保の状況

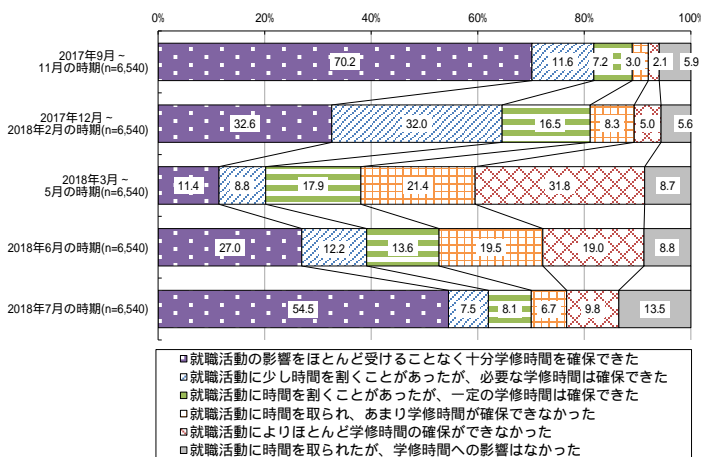
就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」、「必要な学修時間は確保できた」、「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は約5割、7月は約7割まで高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査と比較すると、6月・7月に学修時間が確保できたと回答した割合が2倍程度の時期もあるなど高くなっている。2016年度調査・2017年度調査と比較しても、3月以降は今年度調査の方が高くなっている。

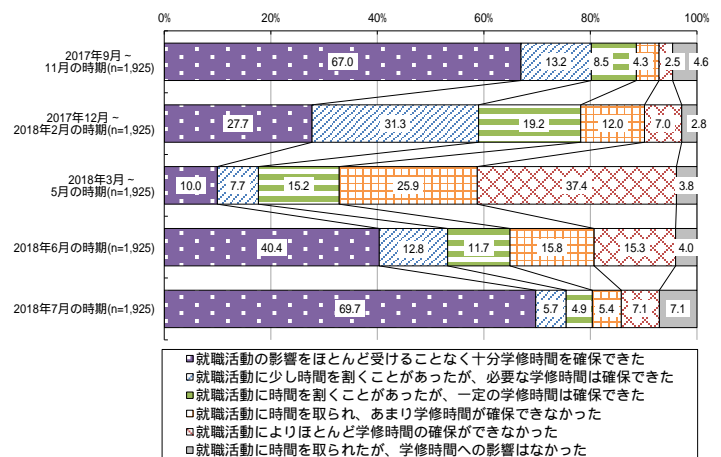
図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



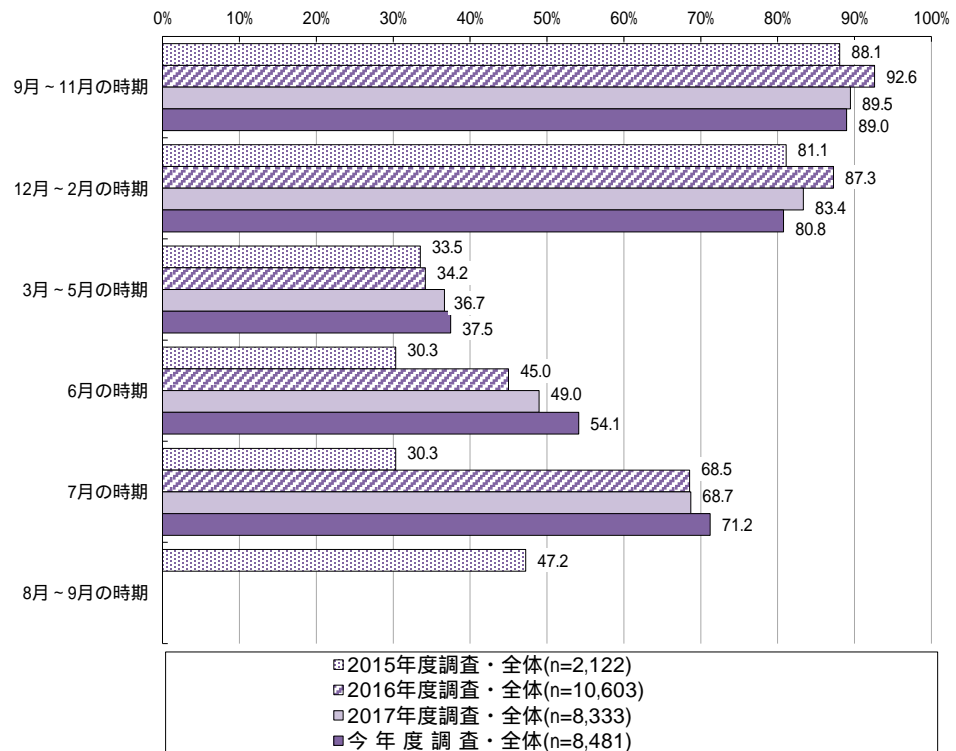
#### (大学4年生)



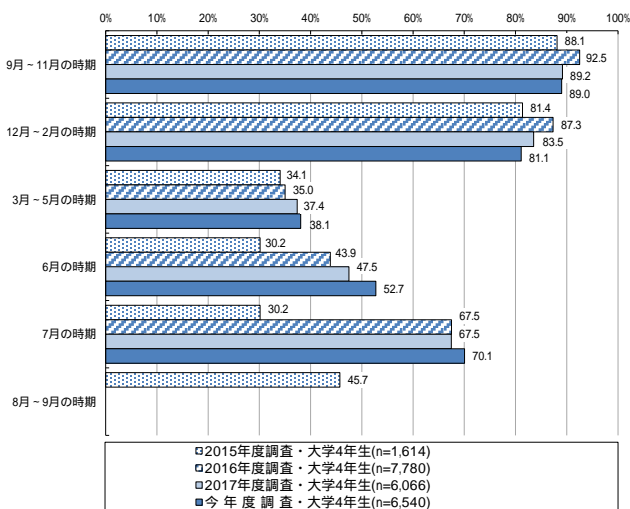
#### (大学院2年生)



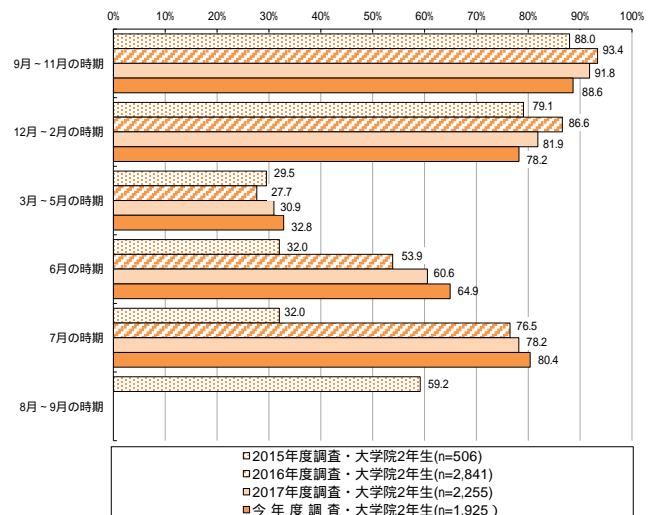
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（過年度調査との比較）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

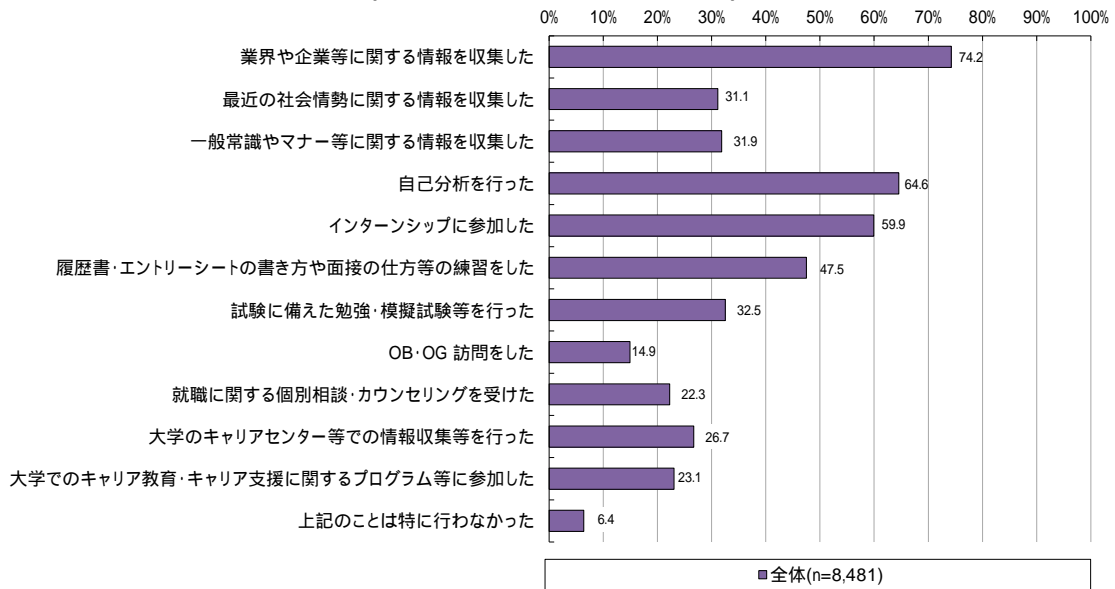


### 3 . 就職活動内容

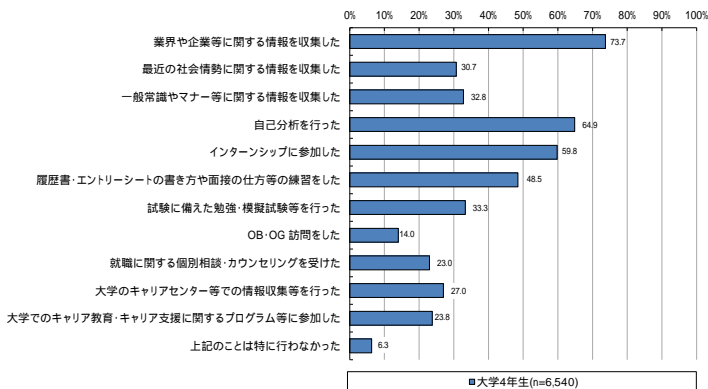
#### ( 1 ) 企業の広報活動開始前の活動状況

就職活動を行うにあたり、企業の広報活動が開始になる3月1日より前の時期にどのような活動をしたかについて、「業界や企業等に関する情報を収集した」の回答割合が最も高く、次いで「自己分析を行った」「インターンシップに参加した」「履歴書・エントリーシートの書き方や面接の仕方等の練習をした」の順で回答割合が高くなっている。

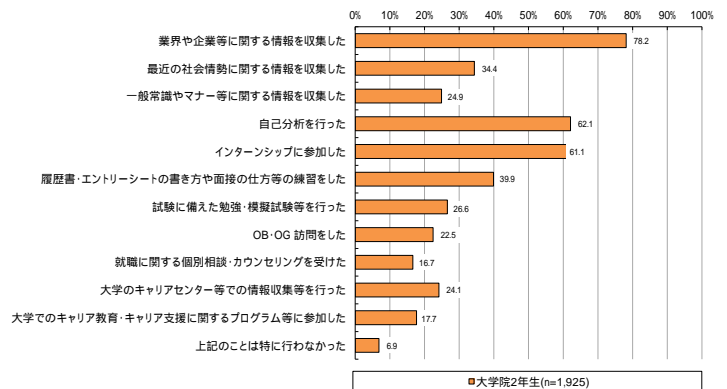
図表 3-1-1 企業の広報活動開始前の活動状況（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



#### ( 大学4年生 )



#### ( 大学院2年生 )

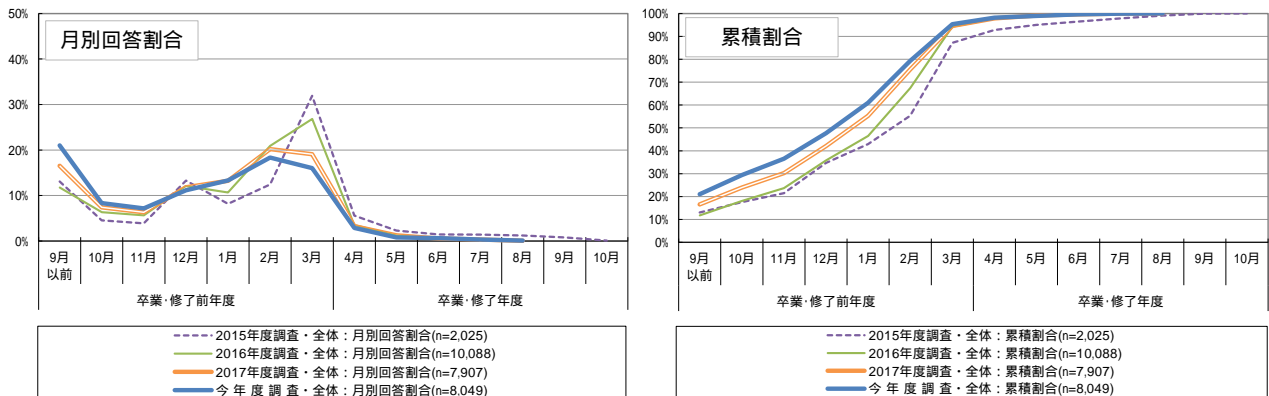


## (2) 業界や企業に関する分析を開始した時期

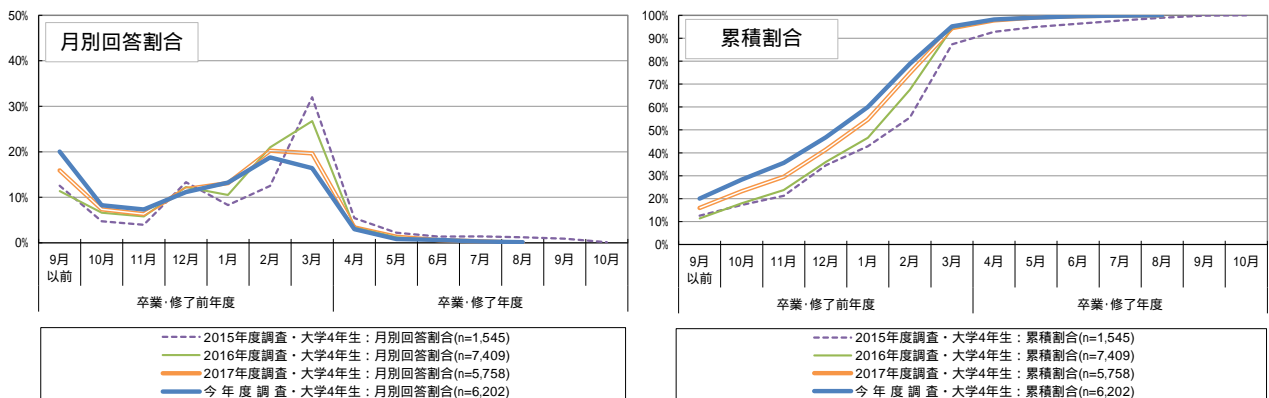
いつごろから業界や企業に関する分析を開始したかについて、「2017年9月以前」と「2018年2月」の回答割合が約2割と高くなっている<sup>12</sup>。

過年度調査と比較すると、卒業・修了前年度の「9月以前」など、より早期の回答割合が高くなっており、全体的に時期が若干早まっている。

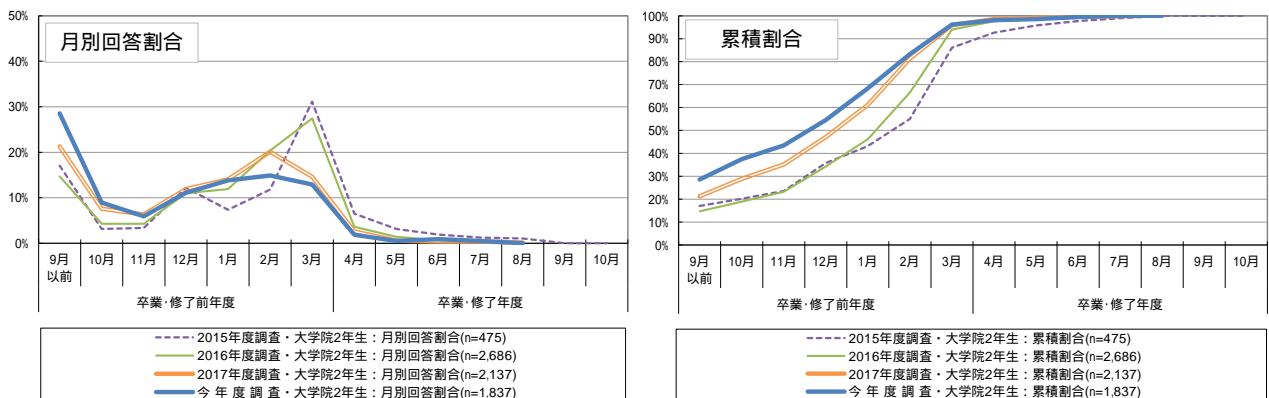
図表 3-2-1 業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>12</sup> 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

図表 3-2-2 業界や企業に関する分析を開始した時期（詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	21.0%	8.3%	7.2%	11.1%	13.3%	18.3%	16.0%	2.9%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%
累積割合	21.0%	29.4%	36.5%	47.7%	61.0%	79.3%	95.3%	98.1%	98.9%	99.6%	99.9%	100.0%

（大学4年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	20.0%	8.3%	7.3%	11.1%	13.2%	18.8%	16.4%	3.0%	0.8%	0.6%	0.3%	0.1%
累積割合	20.0%	28.3%	35.6%	46.8%	60.0%	78.8%	95.2%	98.2%	99.0%	99.6%	99.9%	100.0%

（大学院2年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	28.5%	8.9%	5.9%	11.1%	13.8%	14.9%	12.9%	1.9%	0.5%	0.9%	0.5%	0.0%
累積割合	28.5%	37.5%	43.4%	54.5%	68.3%	83.3%	96.2%	98.1%	98.6%	99.5%	100.0%	100.0%

### (3) 企業説明会やセミナー等の参加状況

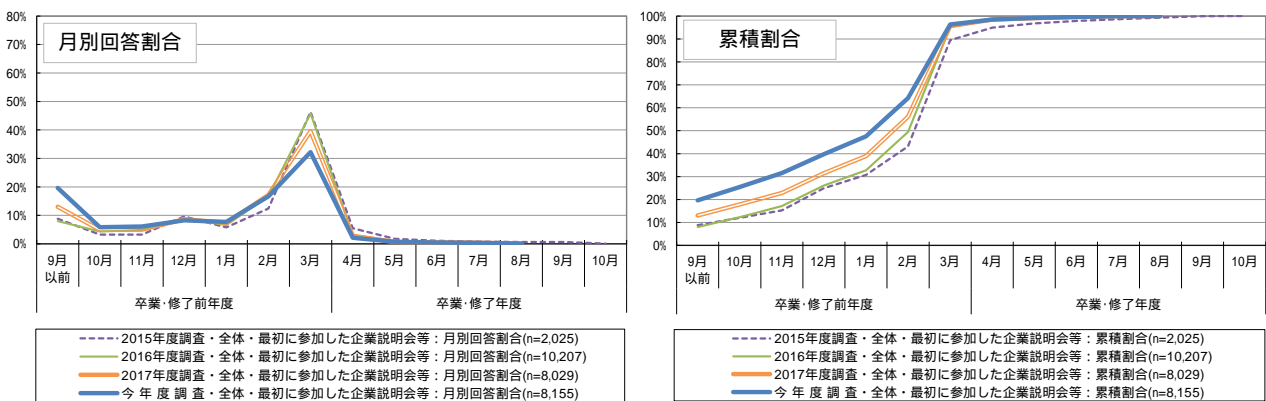
#### 企業説明会やセミナー等の参加時期

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期である「2018年3月」との回答割合が約3割と最も高くなっている<sup>13</sup>。「参加のピーク」についても、約6割が「2018年3月」と回答しており最も割合が高い。「最後に参加した時期」については、「2018年4月」との回答割合が約3割と最も高くなっている。

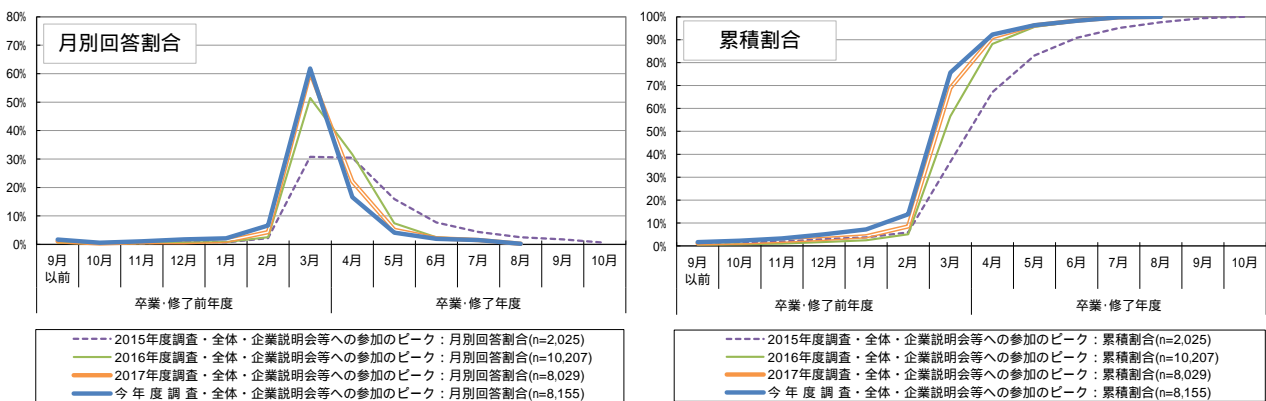
過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」のいずれも、回答割合が最も高い月は2017年度調査と同一であるが、特に「最初に参加した時期」について、今年度調査ではより早期の回答割合が高くなっている。

図表 3-3-1 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生・大学院2年生）

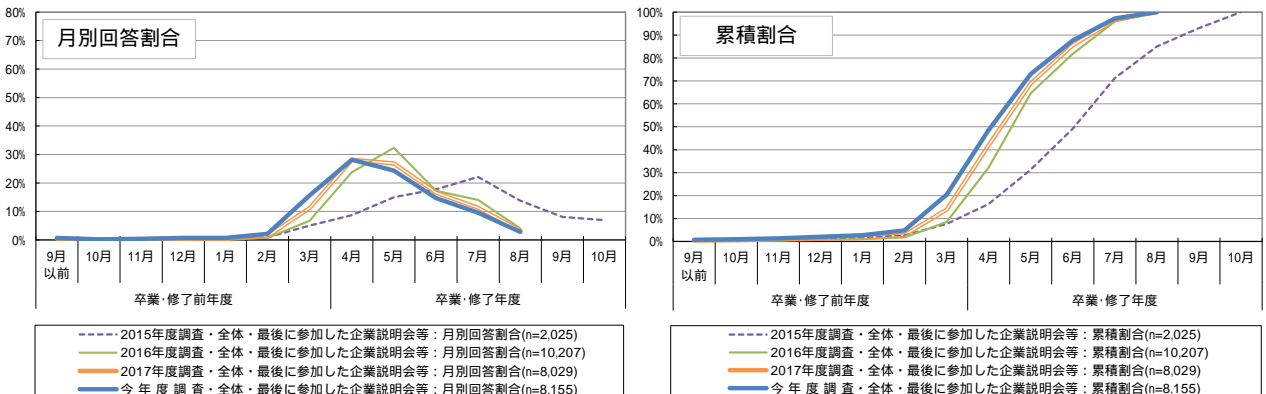
#### <最初に参加した時期>



#### <参加のピーク>



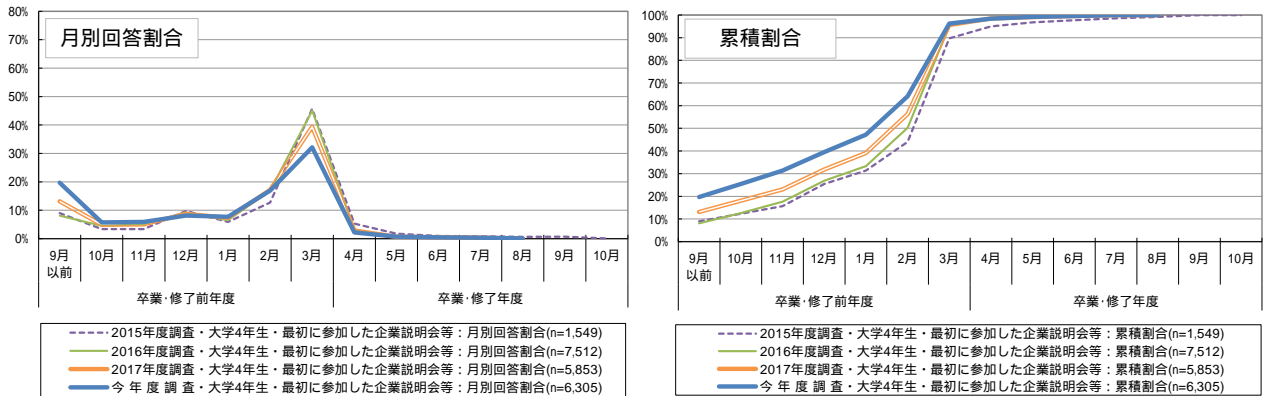
#### <最後に参加した時期>



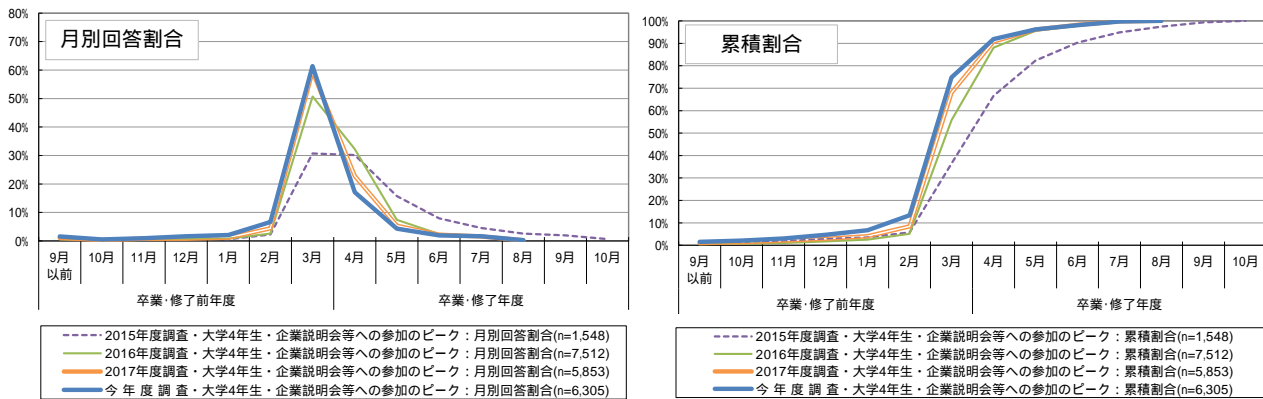
<sup>13</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

図表 3-3-2 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）

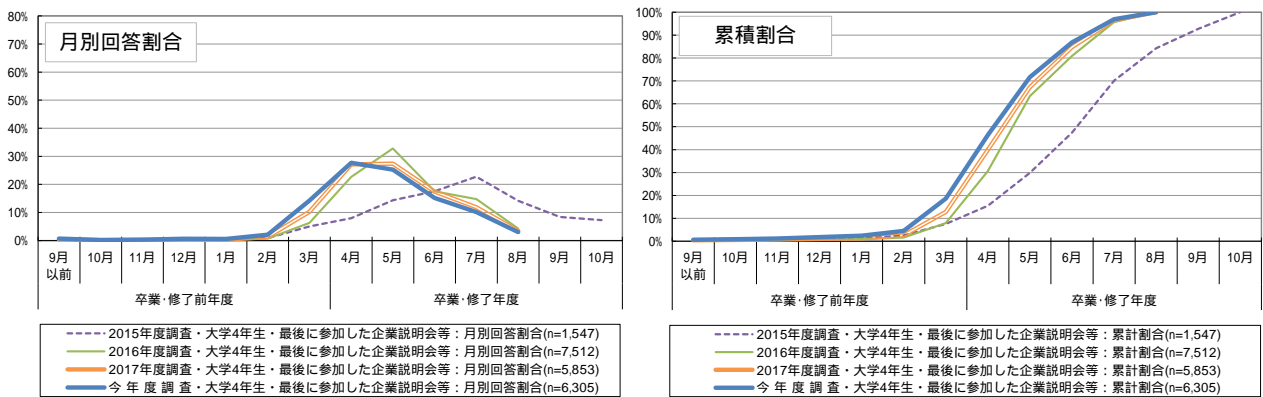
< 最初に参加した時期 >



< 参加のピーク >

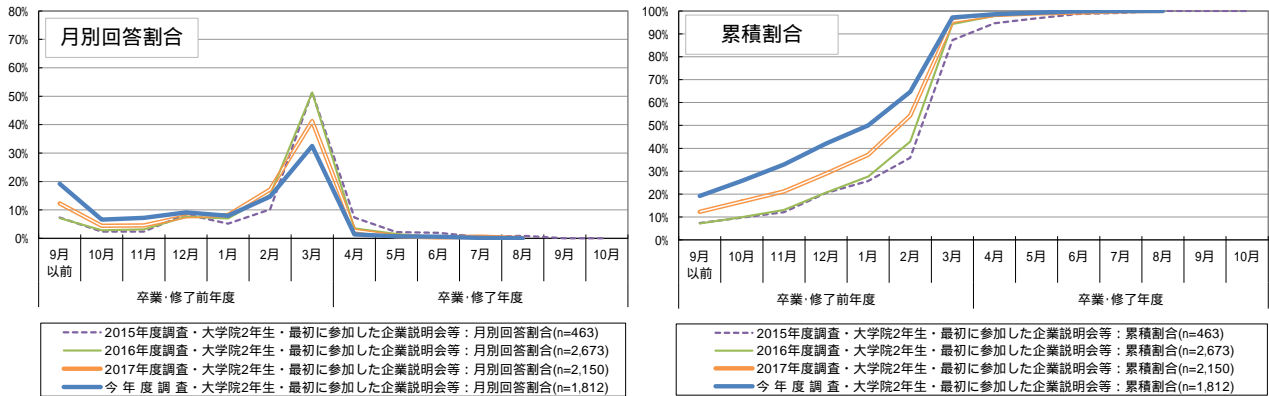


< 最後に参加した時期 >

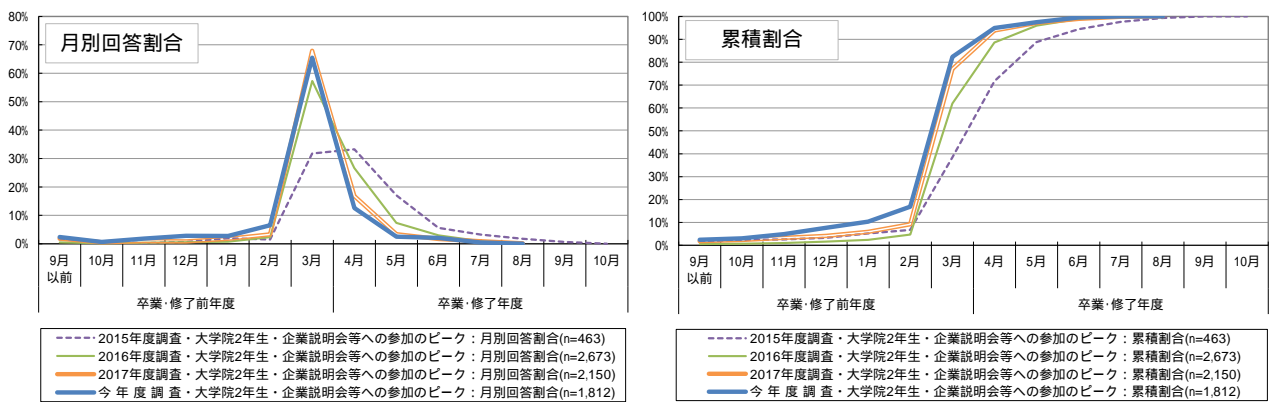


図表 3-3-3 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学院2年生）

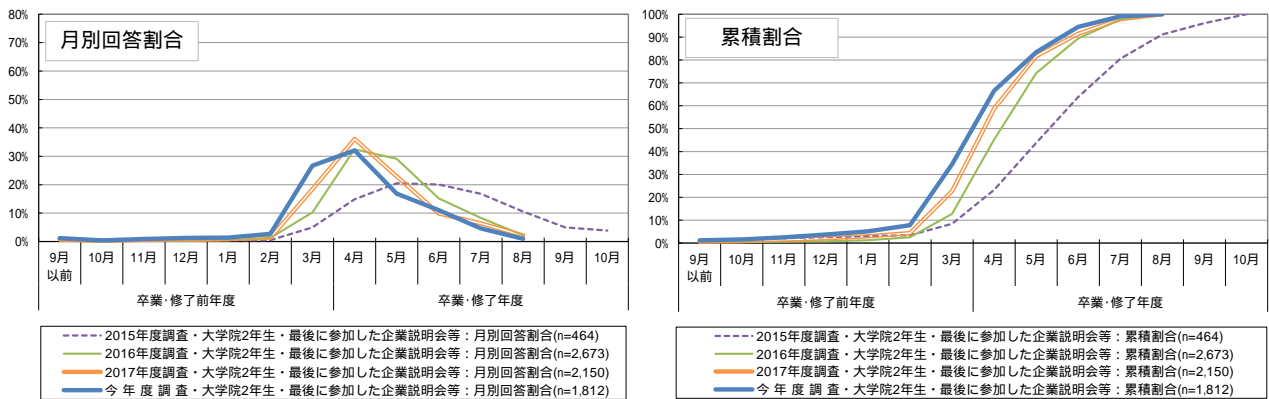
< 最初に参加した時期 >



< 参加のピーク >



< 最後に参加した時期 >



図表 3-3-4 企業説明会やセミナー等の参加時期（詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	19.7%	5.8%	6.1%	8.2%	7.7%	16.7%	32.2%	2.1%	0.7%	0.4%	0.3%	0.1%
累積割合	19.7%	25.5%	31.5%	39.8%	47.5%	64.2%	96.4%	98.5%	99.2%	99.6%	99.9%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.7%	0.6%	1.0%	1.8%	2.1%	6.6%	61.8%	16.6%	4.1%	1.9%	1.5%	0.2%
累積割合	1.7%	2.2%	3.3%	5.0%	7.2%	13.8%	75.6%	92.2%	96.3%	98.3%	99.8%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.4%	0.7%	0.7%	2.1%	15.6%	28.2%	24.3%	14.7%	9.5%	2.8%
累積割合	0.7%	0.9%	1.3%	2.0%	2.7%	4.8%	20.4%	48.6%	73.0%	87.7%	97.2%	100.0%

（大学4年生）

最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	19.7%	5.7%	5.9%	8.1%	7.7%	16.9%	32.1%	2.2%	0.7%	0.4%	0.3%	0.1%
累積割合	19.7%	25.4%	31.4%	39.5%	47.2%	64.1%	96.2%	98.5%	99.2%	99.6%	99.9%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.6%	0.5%	0.9%	1.6%	2.0%	6.6%	61.4%	17.1%	4.3%	1.9%	1.6%	0.3%
累積割合	1.6%	2.1%	3.1%	4.7%	6.8%	13.4%	74.8%	91.9%	96.2%	98.1%	99.7%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.3%	0.6%	0.6%	2.1%	14.2%	27.7%	25.3%	15.2%	10.2%	3.0%
累積割合	0.7%	0.9%	1.2%	1.8%	2.4%	4.5%	18.7%	46.4%	71.6%	86.8%	97.0%	100.0%

（大学院2年生）

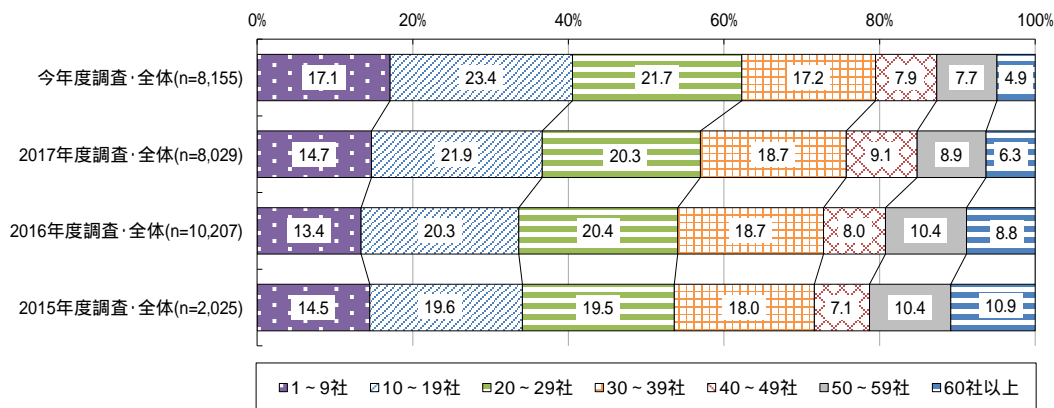
最初の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	19.2%	6.6%	7.2%	9.1%	7.9%	14.7%	32.5%	1.4%	0.7%	0.6%	0.2%	0.0%
累積割合	19.2%	25.8%	33.0%	42.1%	50.0%	64.7%	97.2%	98.6%	99.3%	99.8%	100.0%	100.0%
参加のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.4%	0.6%	1.8%	2.8%	2.7%	6.5%	65.5%	12.6%	2.5%	2.1%	0.5%	0.0%
累積割合	2.4%	3.0%	4.9%	7.6%	10.4%	16.9%	82.4%	95.0%	97.5%	99.5%	100.0%	100.0%
最後の参加	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.2%	0.4%	0.9%	1.3%	1.4%	2.7%	26.7%	32.1%	16.9%	11.0%	4.6%	0.9%
累積割合	1.2%	1.6%	2.5%	3.8%	5.1%	7.8%	34.5%	66.6%	83.4%	94.5%	99.1%	100.0%

## 企業説明会やセミナー等に参加した回数

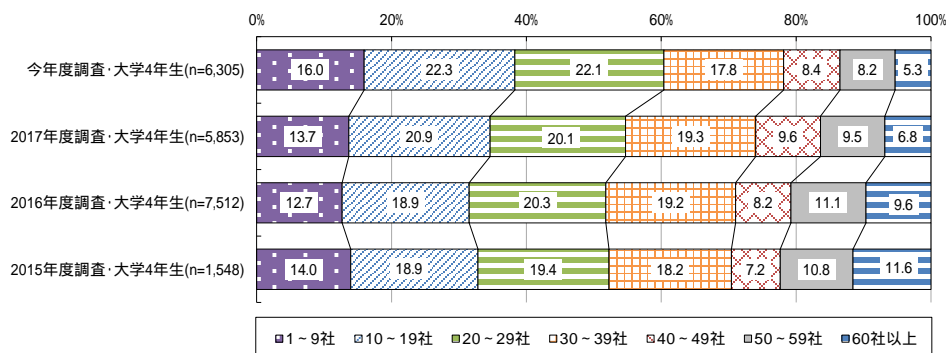
企業説明会やセミナー等に参加した回数について、「1～9社」「10～19社」「20～29社」「30～39社」であった者の割合がそれぞれ約2割となっている。なお、30社以上の企業説明会やセミナー等に参加した者が約4割、50社以上の者は約1割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない回数であった者の割合が増えている。

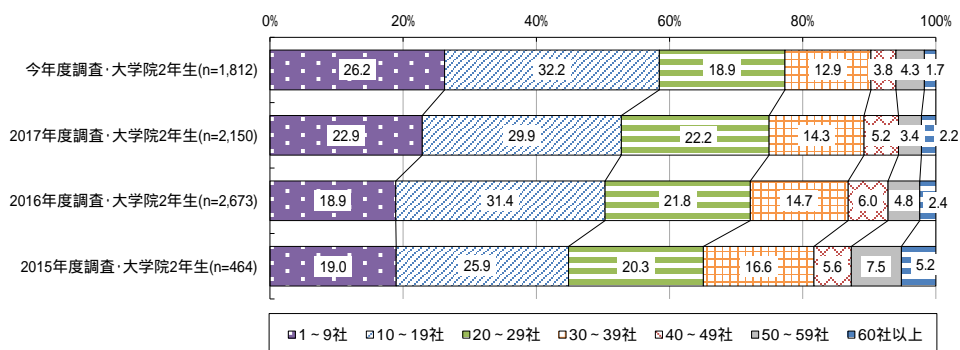
図表 3-3-5 企業説明会やセミナー等に参加した企業数  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)





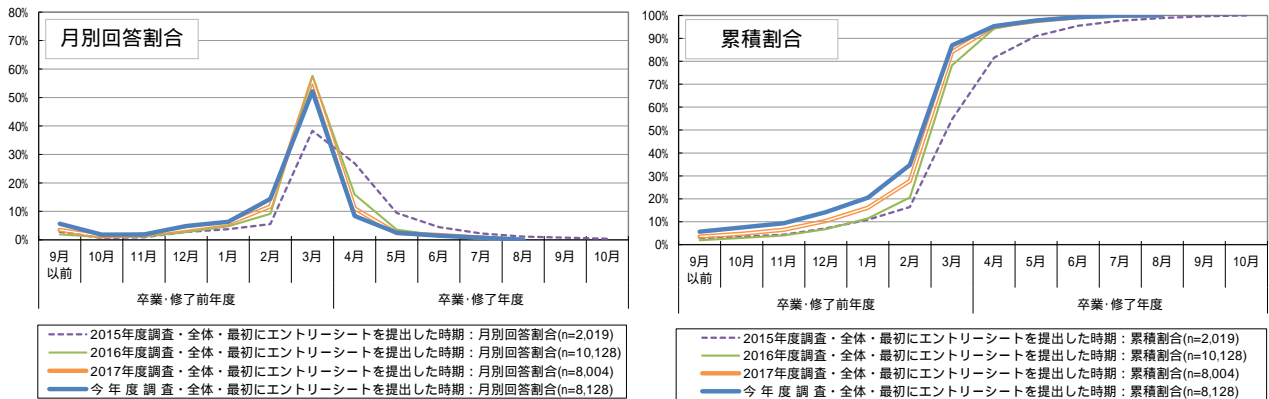
## (4) エントリーシートの提出状況

### エントリーシートの提出時期

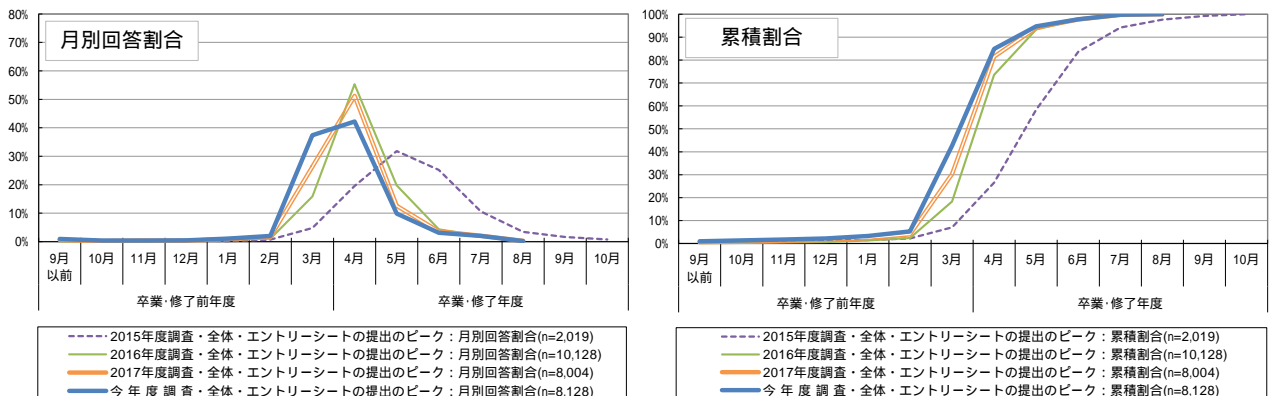
エントリーシートの提出<sup>14</sup>時期について、「最初に提出した時期」は、「2018年3月」との回答割合が5割以上と最も高くなっている<sup>15</sup>。「提出のピーク」は「2018年4月」との回答割合が約4割と最も高く、「最後に提出した時期」については、「2018年5月」との回答割合が約3割と最も高い。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」のいずれも、回答割合が最も高い月は2016年度調査・2017年度調査と同一であるが、今年度調査では時期が若干早まっている。

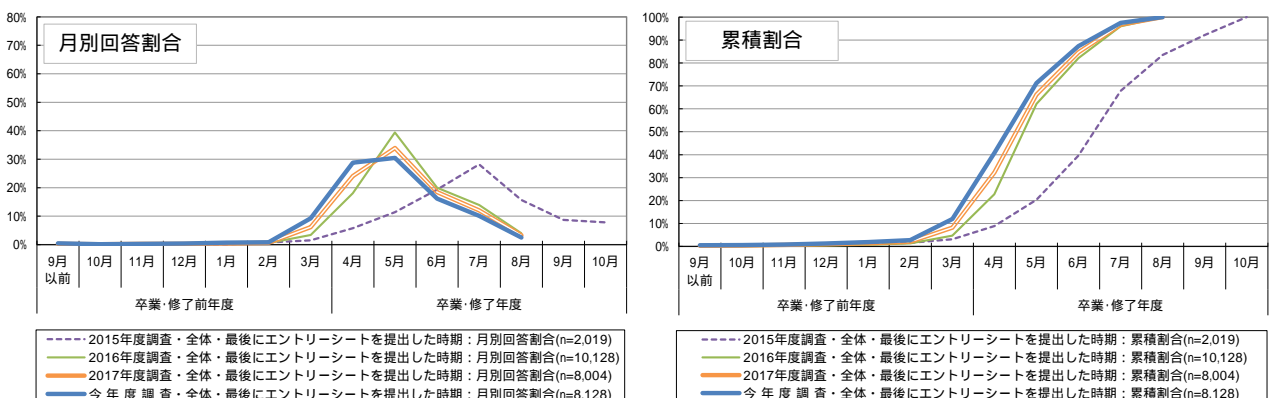
図表 3-4-1 エントリーシートの提出時期（大学4年生・大学院2年生）  
 <最初に提出した時期>



<提出のピーク>



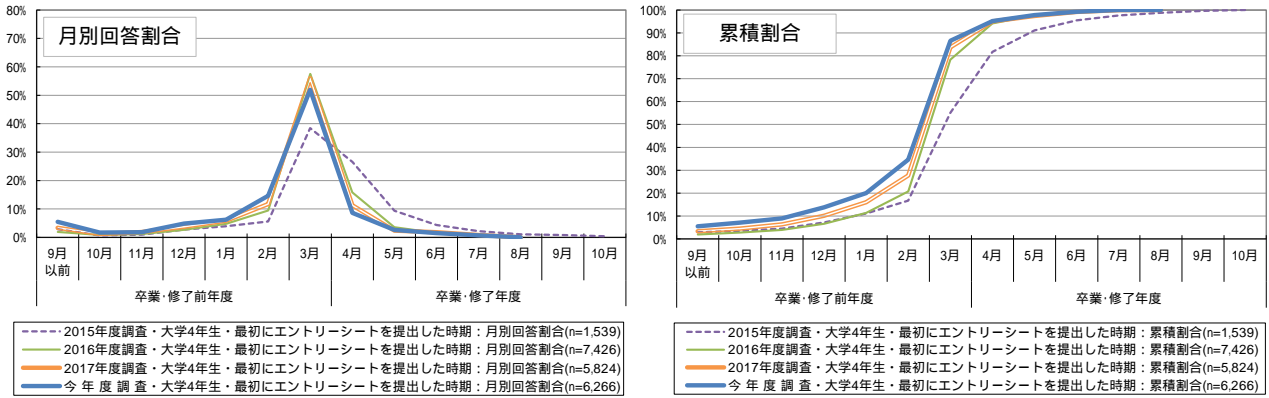
<最後に提出した時期>



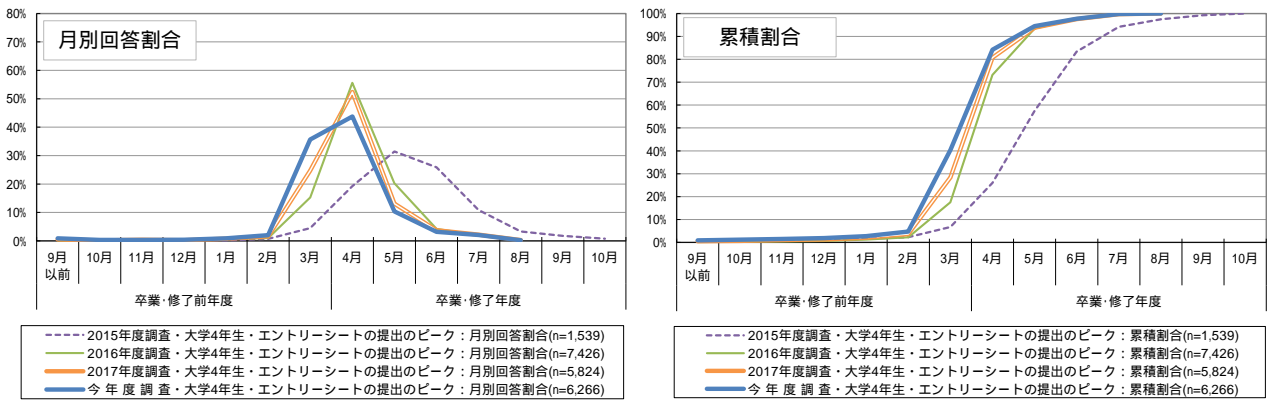
<sup>14</sup> エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することを指すものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>15</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

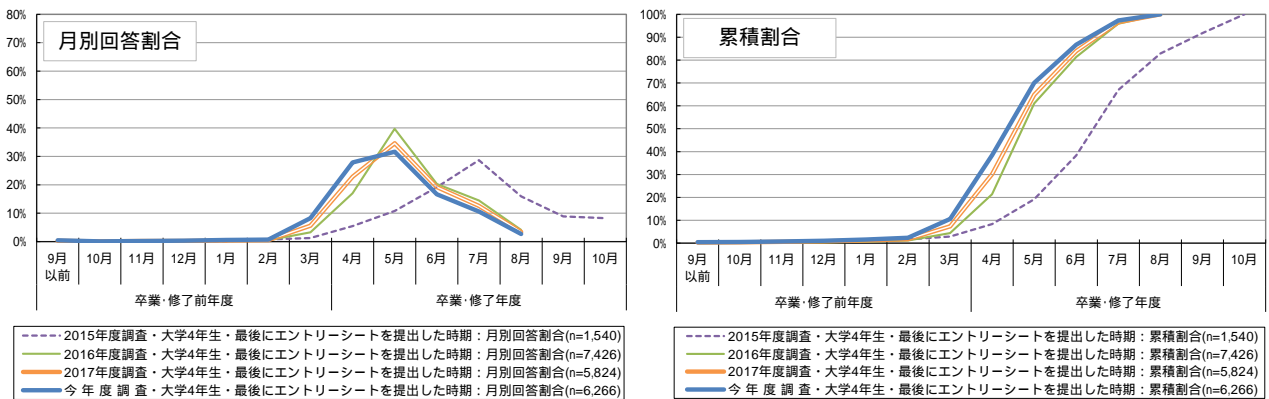
図表 3-4-2 エントリーシートの提出時期（大学4年生）  
 < 最初に提出した時期 >



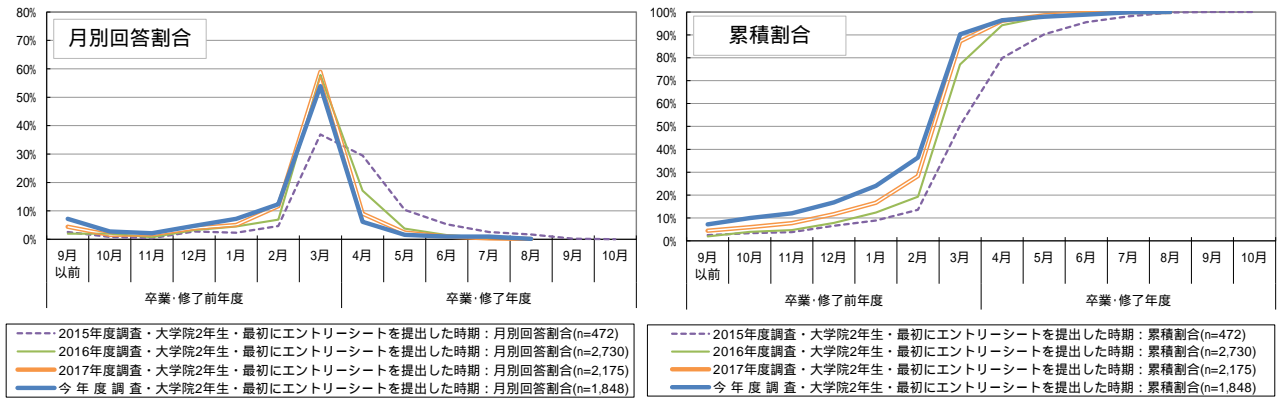
< 提出のピーク >



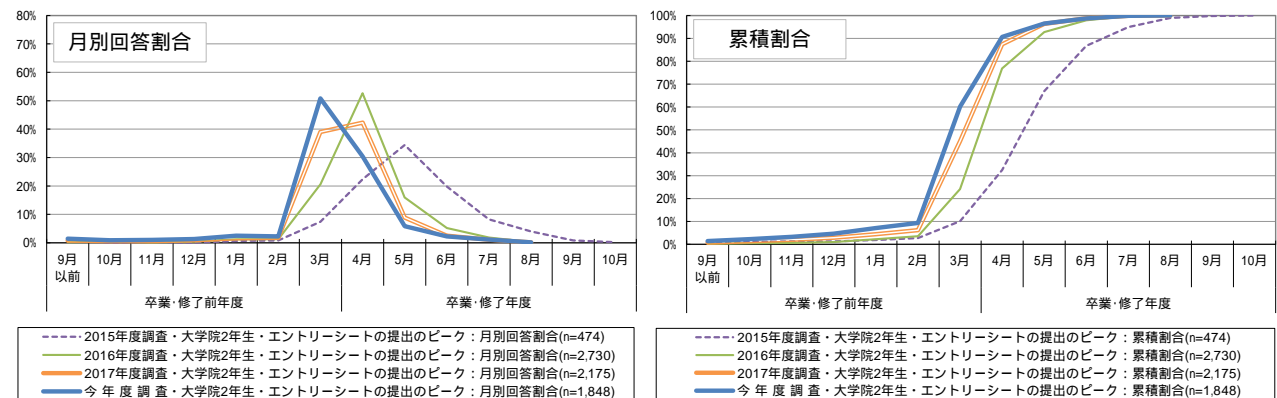
< 最後に提出した時期 >



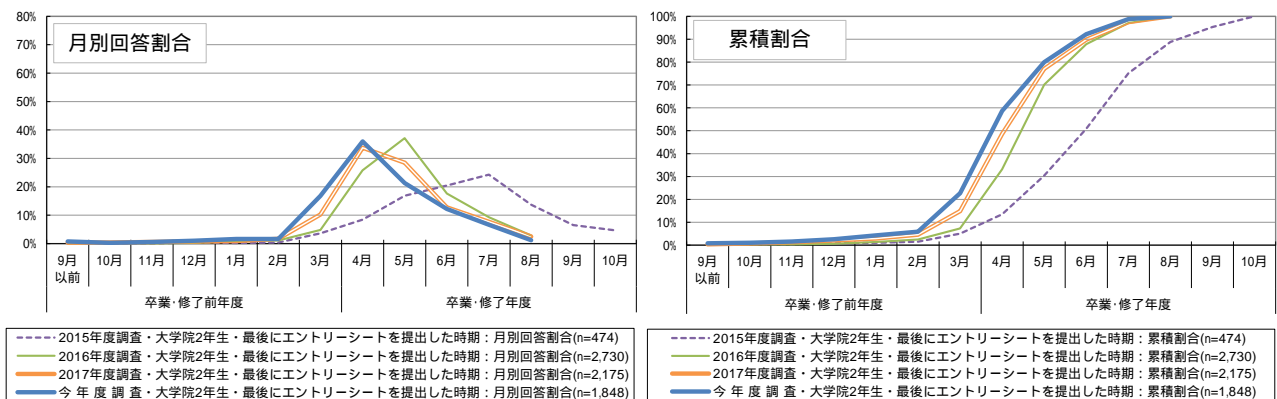
図表 3-4-3 エントリーシートの提出時期（大学院2年生）  
 < 最初に提出した時期 >



< 提出のピーク >



< 最後に提出した時期 >



図表 3-4-4 エントリーシートの提出時期（詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

最初の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	5.7%	1.8%	1.9%	4.8%	6.3%	14.4%	52.1%	8.3%	2.5%	1.4%	0.7%	0.0%
累積割合	5.7%	7.5%	9.3%	14.2%	20.5%	34.8%	87.0%	95.3%	97.8%	99.2%	100.0%	100.0%
提出のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.4%	0.4%	0.5%	1.1%	2.0%	37.4%	42.2%	9.8%	3.1%	2.0%	0.2%
累積割合	0.9%	1.3%	1.7%	2.2%	3.3%	5.3%	42.7%	84.9%	94.7%	97.8%	99.8%	100.0%
最後の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.1%	0.2%	0.4%	0.7%	0.8%	9.2%	28.8%	30.4%	16.2%	10.1%	2.5%
累積割合	0.5%	0.6%	0.8%	1.2%	1.9%	2.7%	12.0%	40.7%	71.2%	87.4%	97.5%	100.0%

（大学4年生）

最初の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	5.5%	1.7%	1.8%	4.8%	6.2%	14.6%	51.9%	8.6%	2.6%	1.5%	0.7%	0.0%
累積割合	5.5%	7.1%	9.0%	13.8%	20.0%	34.6%	86.5%	95.2%	97.8%	99.3%	100.0%	100.0%
提出のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.3%	0.3%	0.4%	0.9%	2.0%	35.7%	43.7%	10.4%	3.2%	2.1%	0.2%
累積割合	0.9%	1.2%	1.5%	1.9%	2.8%	4.8%	40.4%	84.2%	94.5%	97.7%	99.8%	100.0%
最後の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.1%	0.2%	0.3%	0.5%	0.7%	8.3%	27.9%	31.6%	16.7%	10.6%	2.7%
累積割合	0.4%	0.5%	0.7%	1.1%	1.6%	2.3%	10.6%	38.4%	70.1%	86.7%	97.3%	100.0%

（大学院2年生）

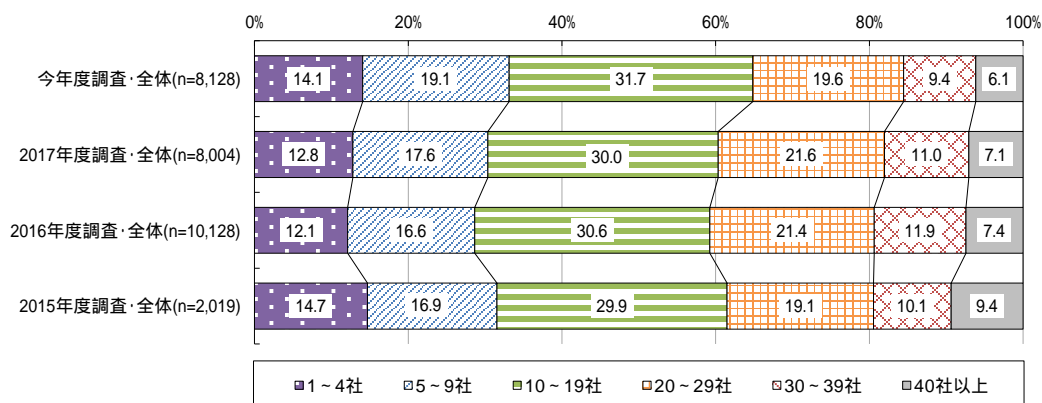
最初の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	7.2%	2.8%	2.1%	4.7%	7.2%	12.4%	53.9%	6.1%	1.6%	0.9%	1.0%	0.1%
累積割合	7.2%	9.9%	12.1%	16.8%	24.0%	36.4%	90.3%	96.4%	98.0%	98.9%	99.9%	100.0%
提出のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.4%	0.9%	1.0%	1.3%	2.5%	2.2%	50.8%	30.4%	5.8%	2.3%	1.1%	0.1%
累積割合	1.4%	2.3%	3.3%	4.6%	7.1%	9.4%	60.2%	90.6%	96.5%	98.7%	99.9%	100.0%
最後の提出	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8%	0.3%	0.6%	1.0%	1.6%	1.7%	16.8%	36.0%	21.3%	12.2%	6.6%	1.2%
累積割合	0.8%	1.0%	1.6%	2.6%	4.2%	5.9%	22.7%	58.7%	80.0%	92.2%	98.8%	100.0%

## エントリーシートの提出数

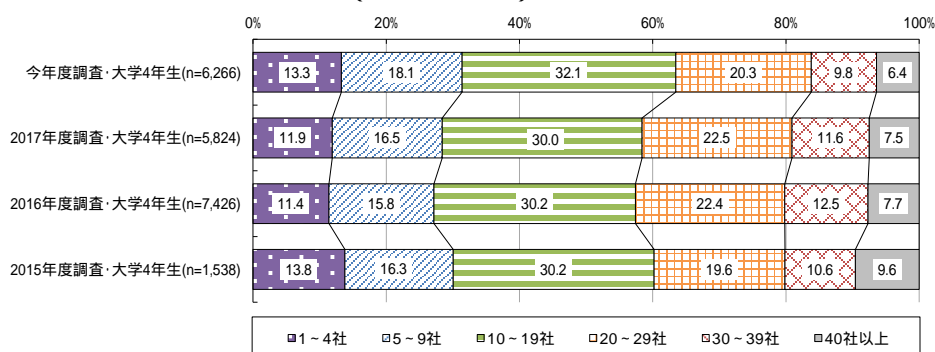
何社にエントリーシートを提出したかについて、「10～19社」であった者の割合が約3割で最も高くなっている。なお、30社以上にエントリーシートを提出した者が約2割、40社以上の者は約1割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない提出数であった者の割合が増えている。

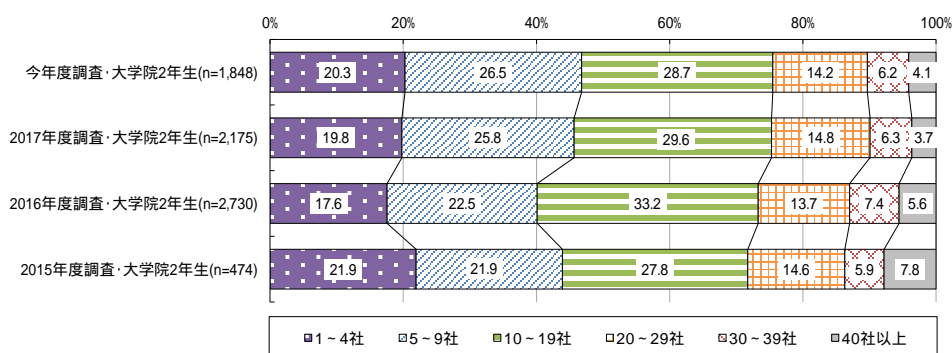
図表 3-4-5 エントリーシートの提出数  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



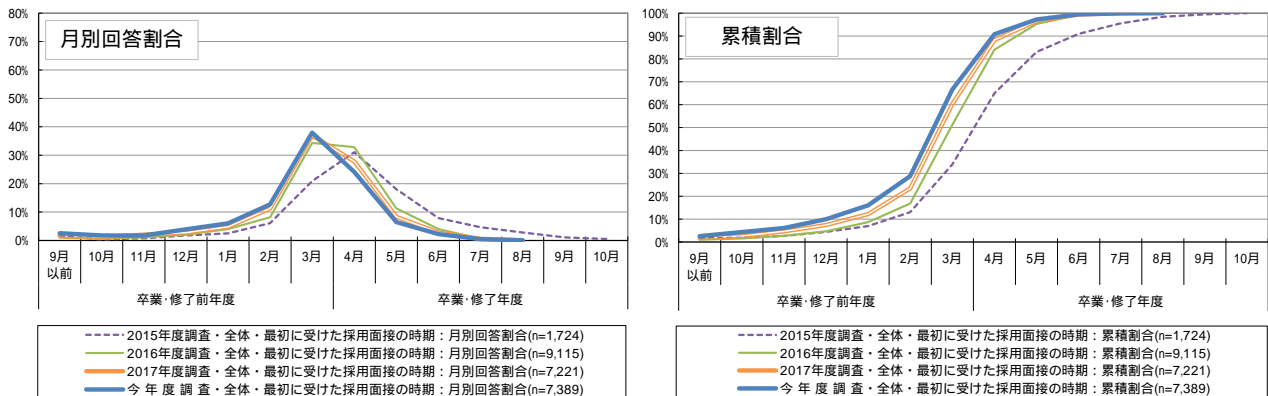
## (5) 採用面接の実施状況

### 採用面接の実施時期

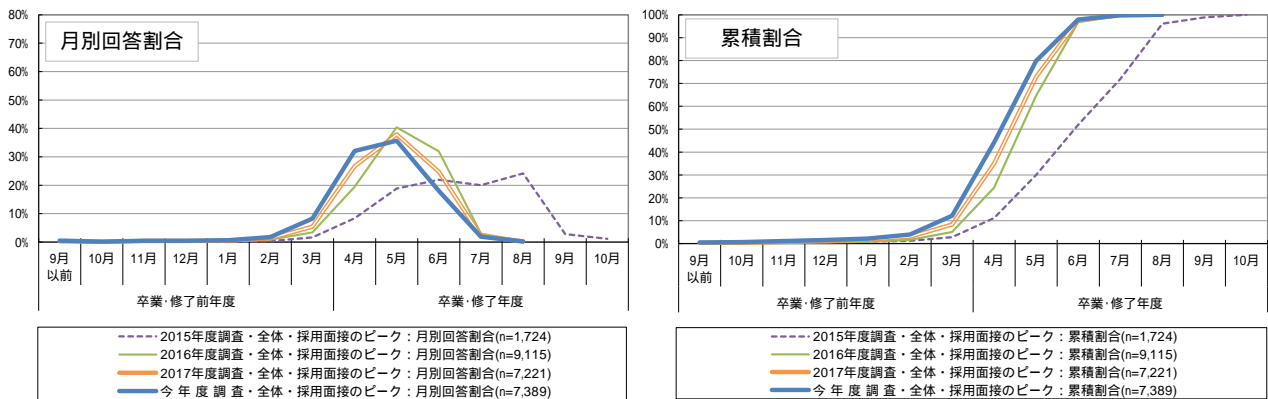
採用面接<sup>16</sup>の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、広報活動開始時期である「2018年3月」との回答割合が約4割で最も高くなっている<sup>17</sup>。「採用面接のピーク」は、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、「2018年5月」との回答割合が約4割で最も高く、次いで「2018年4月」との回答が約3割と高い。「最後に受けた採用面接の時期」については、採用・選考活動開始時期である「2018年6月」との回答が約5割と最も高くなっている。

過年度調査と比較すると、「最初の時期」「ピーク」「最後の時期」のいずれも、回答割合が最も高い月は2016年度調査・2017年度調査と同一であるが、今年度調査では時期が若干早まっている。

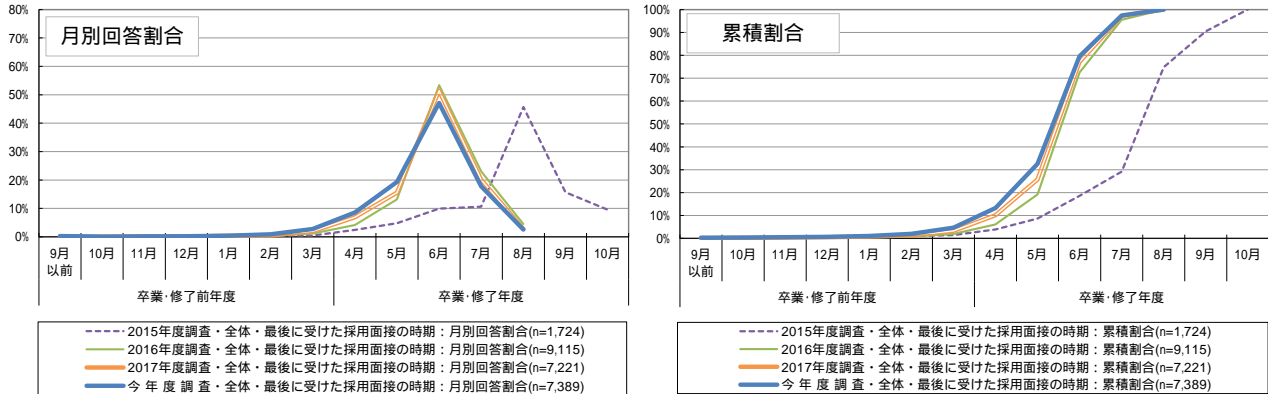
図表 3-5-1 採用面接の実施時期（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）  
＜最初に受けた採用面接の時期＞



### ＜採用面接のピーク＞



### ＜最後に受けた採用面接の時期＞

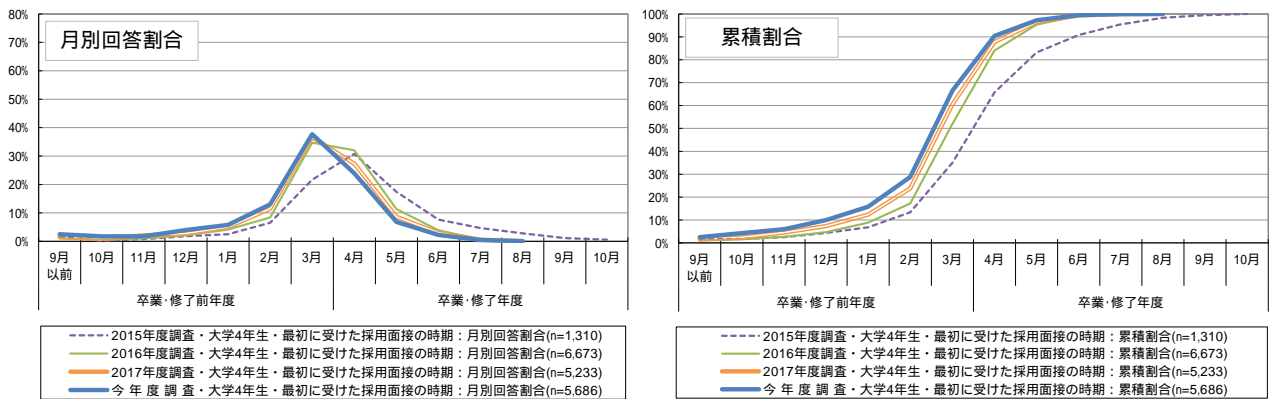


16 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

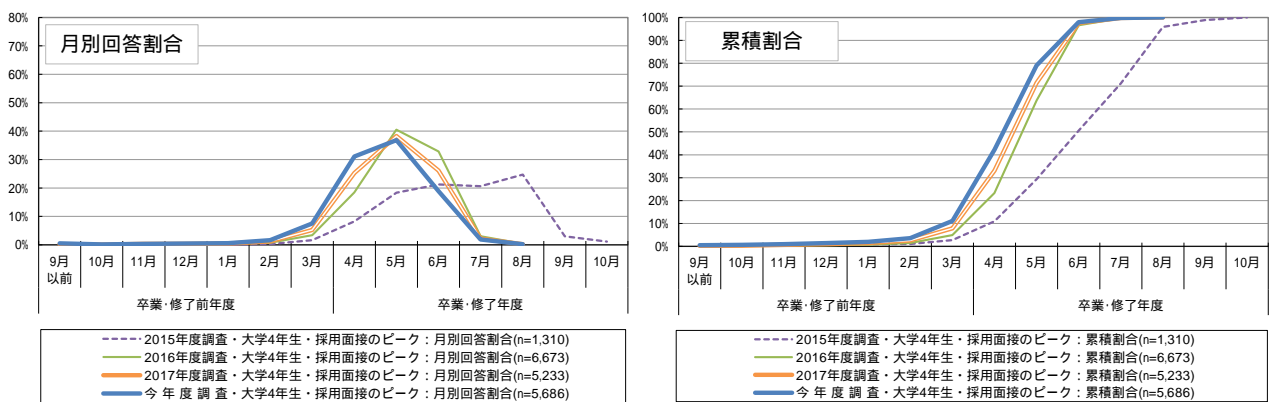
17 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

図表 3-5-2 採用面接の実施時期（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

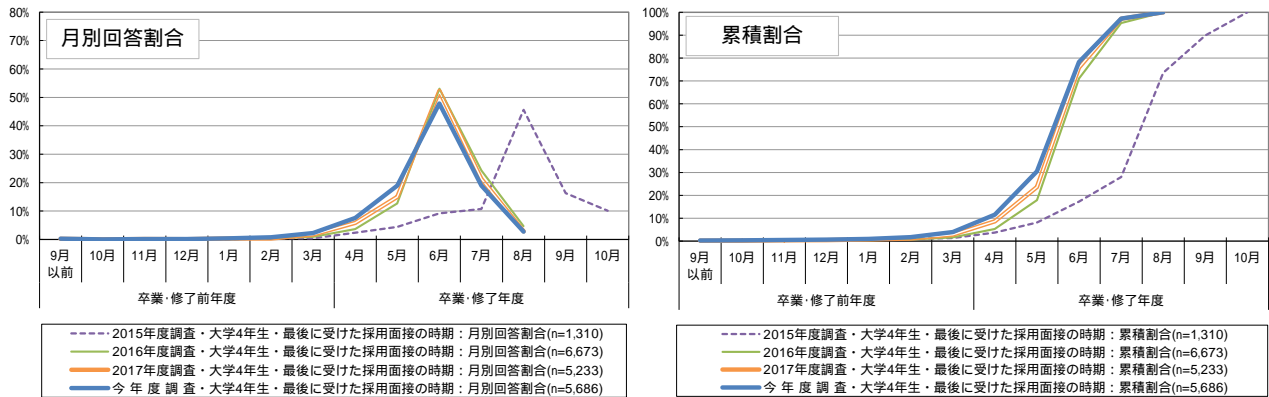
< 最初に受けた採用面接の時期 >



< 採用面接のピーク >



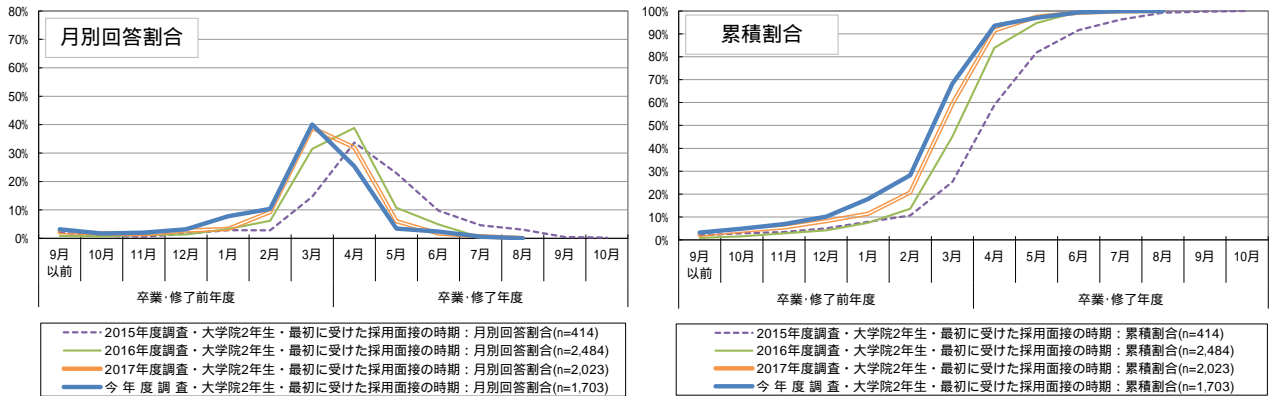
< 最後に受けた採用面接の時期 >



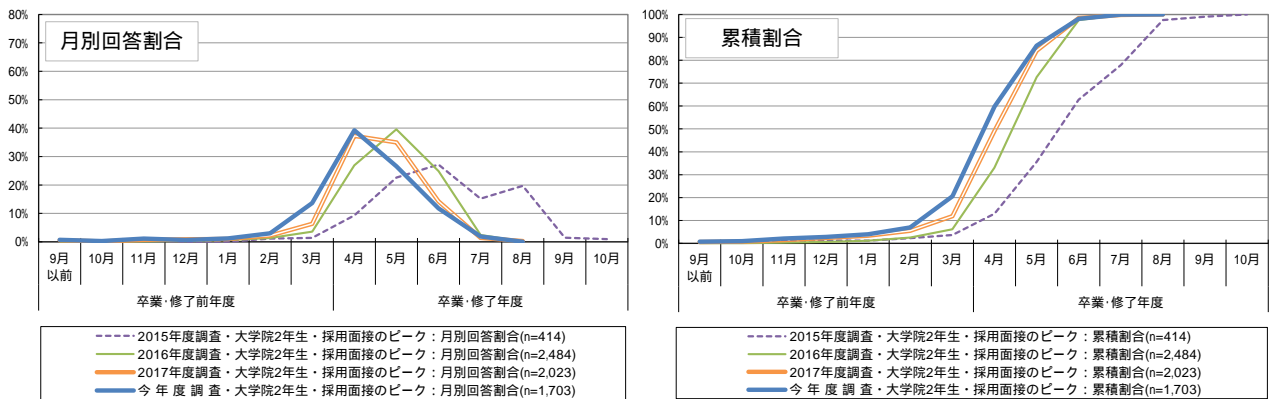


図表 3-5-3 採用面接の実施時期（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

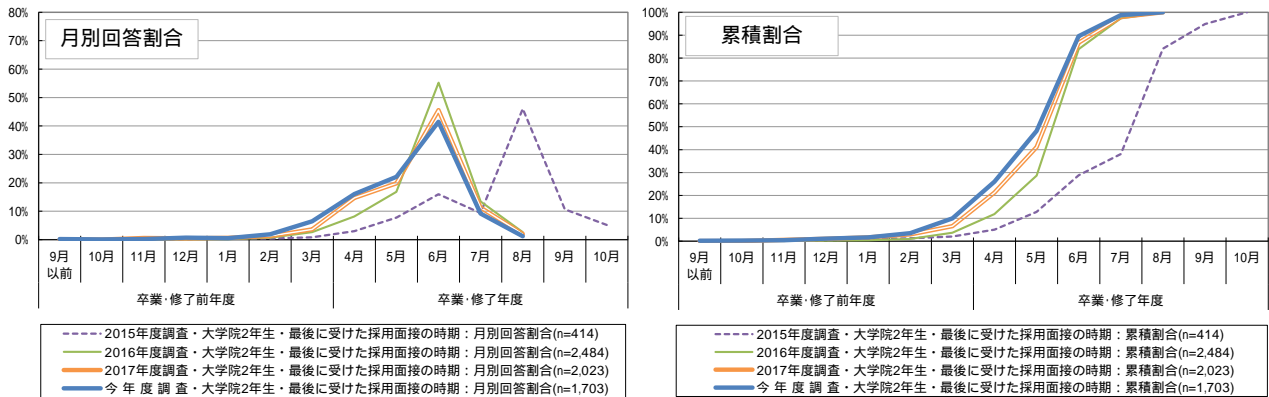
< 最初に受けた採用面接の時期 >



< 採用面接のピーク >



< 最後に受けた採用面接の時期 >





図表 3-5-4 採用面接の実施時期（詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.6%	1.8%	1.8%	3.9%	6.0%	12.7%	37.9%	24.1%	6.5%	2.3%	0.4%	0.1%
累積割合	2.6%	4.3%	6.1%	10.0%	16.0%	28.8%	66.7%	90.8%	97.2%	99.5%	99.9%	100.0%
面接のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.2%	0.4%	0.5%	0.6%	1.8%	8.2%	32.0%	35.6%	18.1%	1.9%	0.2%
累積割合	0.5%	0.7%	1.1%	1.6%	2.2%	4.0%	12.2%	44.3%	79.9%	98.0%	99.8%	100.0%
最後の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.9%	2.7%	8.5%	19.3%	47.1%	17.8%	2.6%
累積割合	0.3%	0.3%	0.5%	0.7%	1.1%	2.0%	4.7%	13.2%	32.5%	79.6%	97.4%	100.0%

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	2.5%	1.8%	1.7%	4.0%	5.8%	13.0%	37.7%	23.9%	6.9%	2.2%	0.4%	0.1%
累積割合	2.5%	4.3%	6.0%	10.0%	15.8%	28.8%	66.5%	90.4%	97.3%	99.5%	99.9%	100.0%
面接のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5%	0.1%	0.4%	0.4%	0.6%	1.6%	7.5%	31.1%	36.8%	18.9%	1.9%	0.2%
累積割合	0.5%	0.6%	1.0%	1.4%	2.0%	3.6%	11.1%	42.2%	79.1%	97.9%	99.8%	100.0%
最後の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3%	0.1%	0.1%	0.1%	0.4%	0.8%	2.2%	7.6%	18.9%	47.8%	18.9%	2.8%
累積割合	0.3%	0.3%	0.5%	0.6%	1.0%	1.8%	4.0%	11.6%	30.5%	78.3%	97.2%	100.0%

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

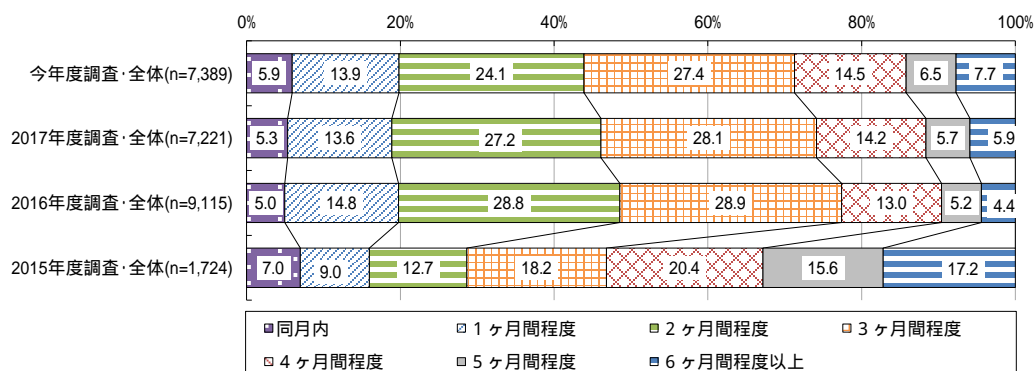
最初の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	3.2%	1.7%	2.0%	3.2%	7.8%	10.4%	40.0%	25.3%	3.4%	2.4%	0.6%	0.0%
累積割合	3.2%	4.9%	6.9%	10.1%	17.9%	28.2%	68.3%	93.6%	97.0%	99.4%	100.0%	100.0%
面接のピーク	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.3%	1.1%	0.7%	1.2%	3.0%	13.6%	39.2%	26.5%	11.7%	1.9%	0.0%
累積割合	0.7%	1.0%	2.1%	2.8%	4.0%	7.0%	20.6%	59.8%	86.3%	98.1%	100.0%	100.0%
最後の面接	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2%	0.1%	0.2%	0.7%	0.5%	1.9%	6.5%	16.0%	22.1%	41.4%	9.2%	1.2%
累積割合	0.2%	0.3%	0.5%	1.2%	1.7%	3.5%	10.0%	26.0%	48.1%	89.6%	98.8%	100.0%

## 最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

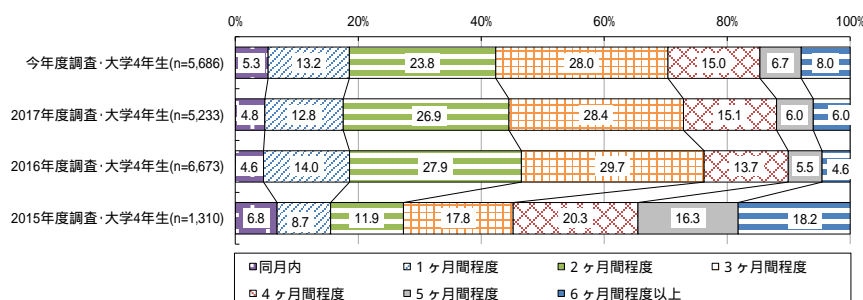
「最初に受けた採用面接の時期」<sup>18</sup>から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると<sup>19</sup>、「3ヶ月程度」<sup>20</sup>の割合が最も高く、次いで「2ヶ月間程度」の割合が高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査と比較すると、面接の期間はより短くなっている傾向が見られる。ただし、2016年度調査・2017年度調査と比較すると、面接の期間がより長い期間であった者の割合が若干増えている。

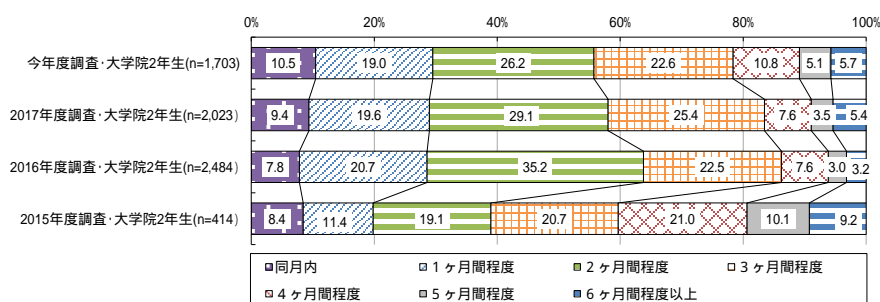
図表 3-5-5 最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>18</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>19</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

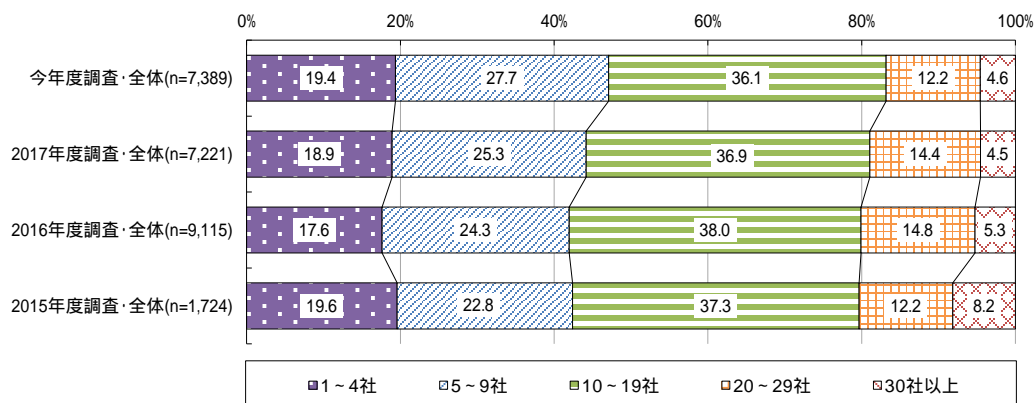
<sup>20</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヵ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

## 採用面接を受けた企業数

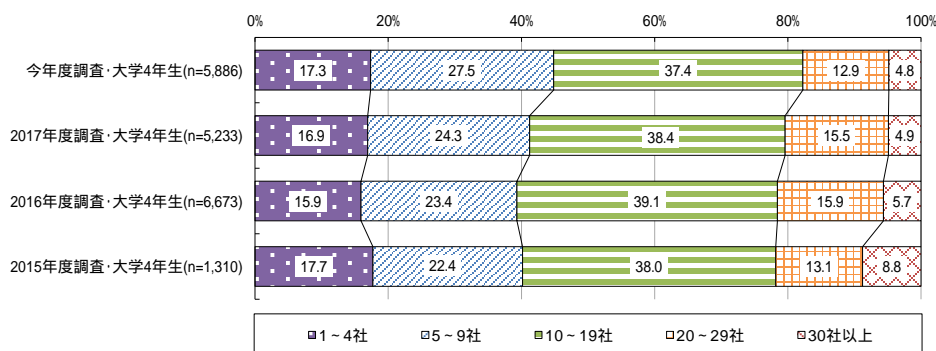
合計で何社の企業の採用面接を受けたかについて、「10～19社」であった者の割合が約4割で最も高くなっている。なお、20社以上の採用面接を受けた者は約2割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査ではより少ない企業数であった者の割合が増えている。

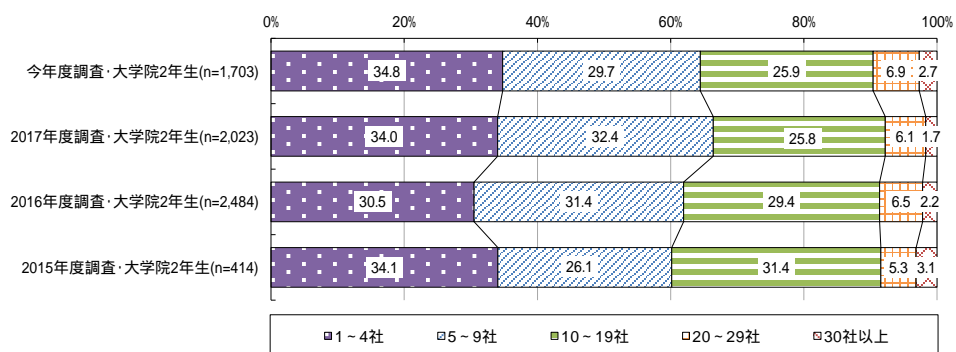
図表 3-5-6 採用面接を受けた企業数  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



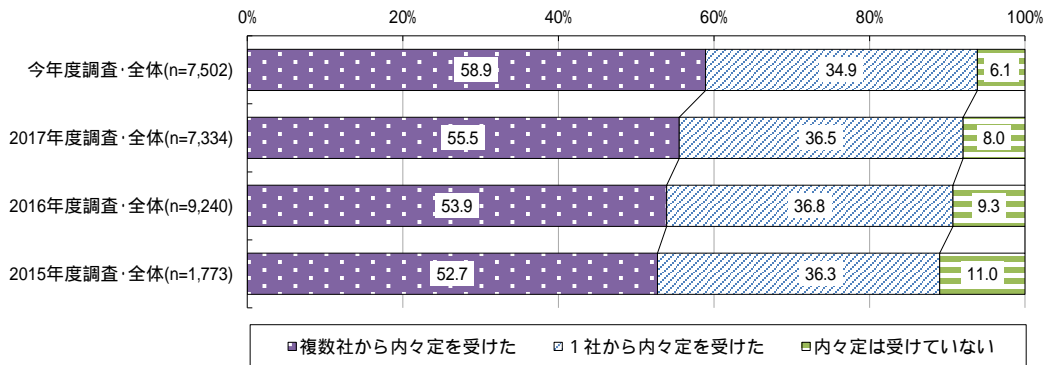
( 6 ) 内々定の状況・内々定の時期

調査実施時点での内々定の状況

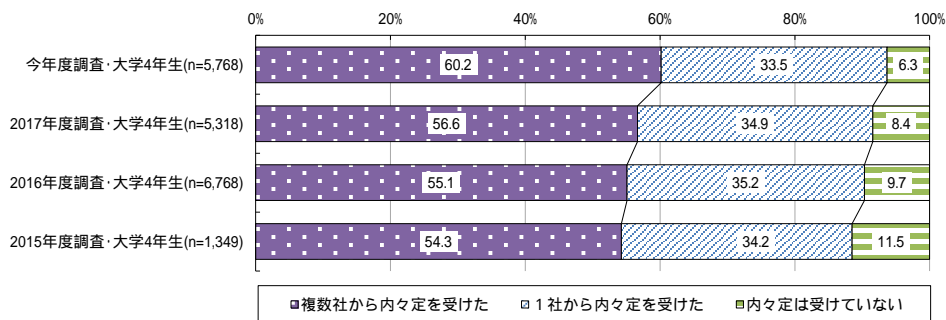
内々定の状況について<sup>21</sup>、調査実施時点で9割以上が内々定を受けている状況にある。また、約6割が「複数社から内々定を受けた」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では調査実施時点で内々定を受けた者の割合が増えている。

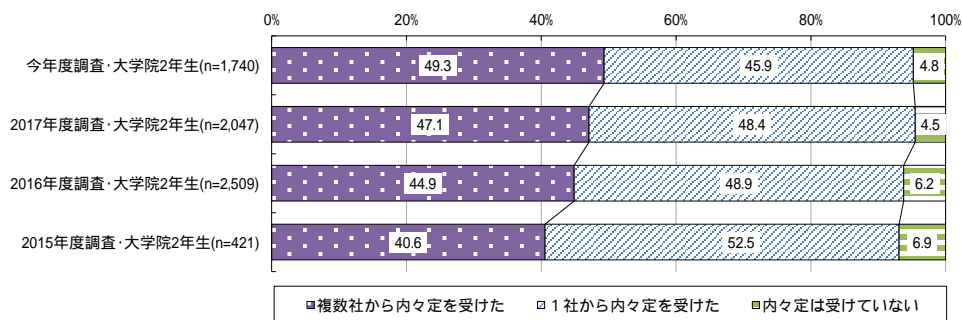
図表 3-6-1 調査実施時点での内々定の状況  
( 大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く )



( 大学4年生、公務員・教職員志望者除く )



( 大学院2年生、公務員・教職員志望者除く )



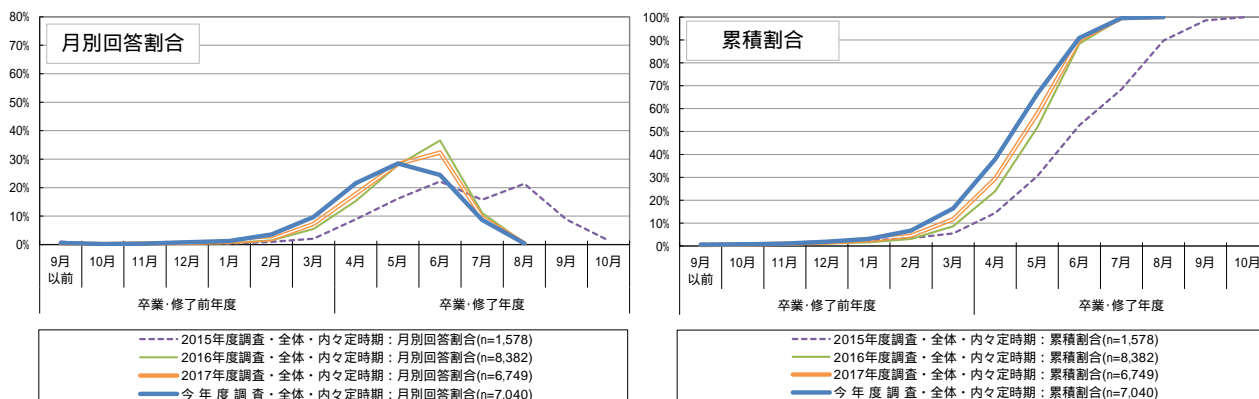
<sup>21</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

## 内々定を受けた時期

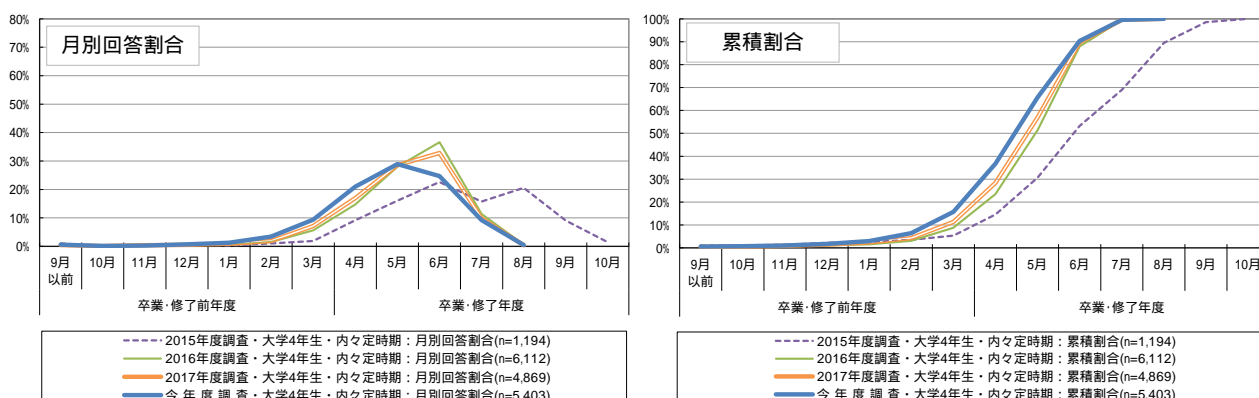
内々定を受けた時期について<sup>22</sup>、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、「2018年5月」との回答割合が約3割となっている。なお、累積割合では、6割以上が2018年5月以前に内々定を受けたと回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では時期が若干早まっている。

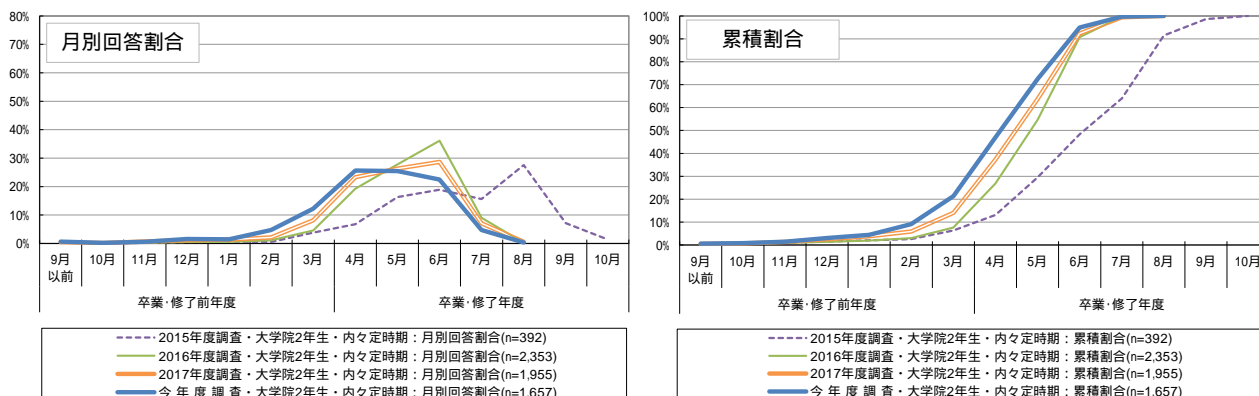
図表 3-6-2 内々定を受けた時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>22</sup> 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

図表 3-6-3 内々定を受けた時期（詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.2%	0.3%	0.8%	1.3%	3.6%	9.7%	21.5%	28.5%	24.5%	8.7%	0.4%
累積割合	0.6%	0.7%	1.1%	1.9%	3.2%	6.7%	16.4%	37.9%	66.4%	90.9%	99.6%	100.0%

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.2%	0.3%	0.7%	1.3%	3.4%	9.3%	21.0%	28.9%	24.7%	9.2%	0.4%
累積割合	0.6%	0.7%	1.0%	1.7%	3.0%	6.4%	15.8%	36.7%	65.6%	90.3%	99.6%	100.0%

（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.6%	0.2%	0.6%	1.6%	1.4%	4.7%	12.2%	25.6%	25.4%	22.5%	4.7%	0.3%
累積割合	0.6%	0.8%	1.4%	3.0%	4.4%	9.1%	21.3%	47.0%	72.4%	94.9%	99.7%	100.0%

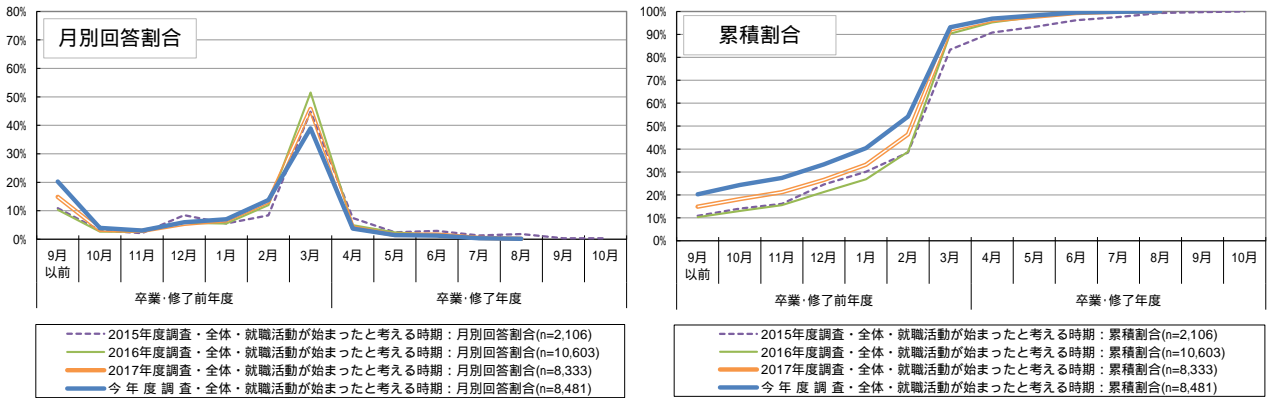
## (7) 就職活動の始まりと終わりの認識

### 就職活動の始まりの時期についての認識

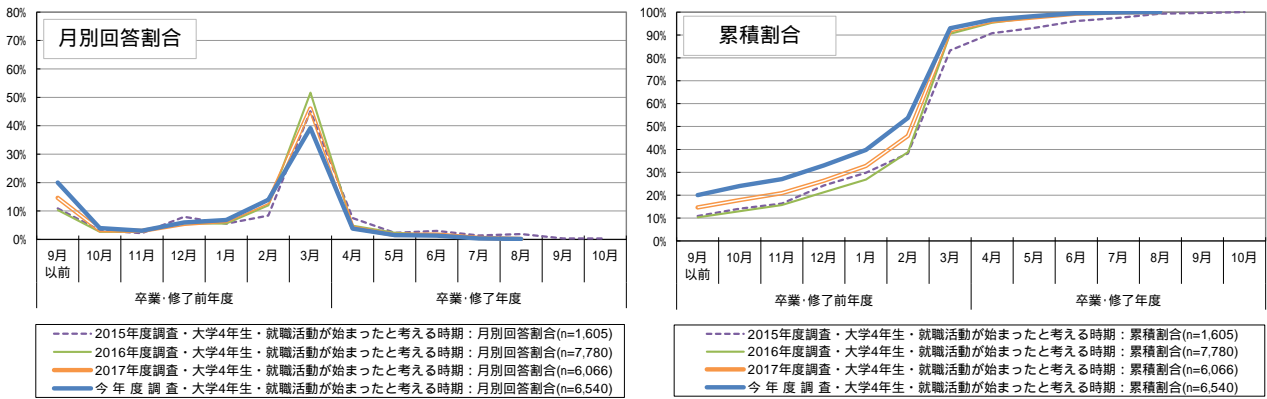
回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、「2018年3月」との回答割合が約4割と最も高くなっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では3月との回答割合が最も高いのは同様であるが、累積割合で見ると、9月以前との回答割合が増えるなど、2月以前と回答した者の割合がより高くなっている。

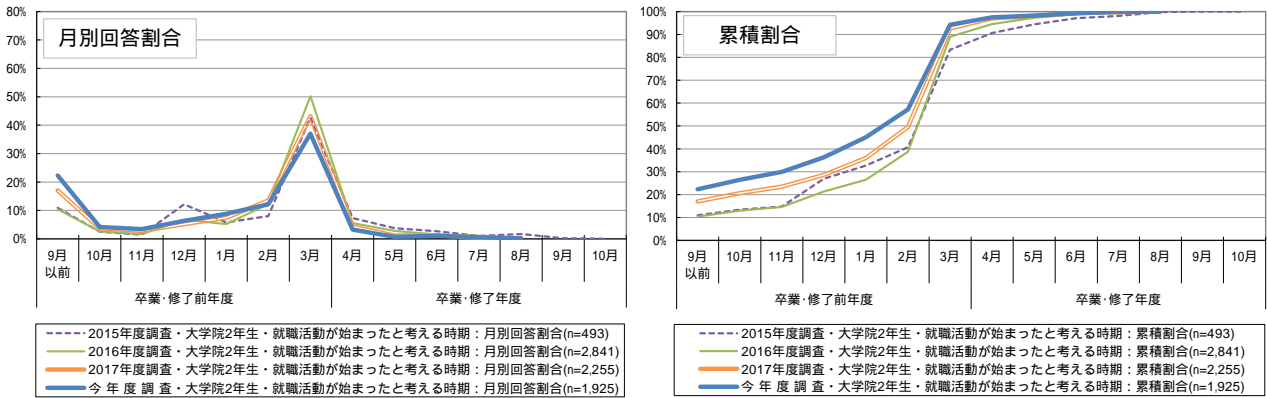
図表 3-7-1 就職活動が始まったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



図表 3-7-2 就職活動が始まったと考える時期（詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	20.3%	4.0%	3.1%	6.0%	7.0%	13.7%	38.9%	3.8%	1.4%	1.3%	0.3%	0.1%
累積割合	20.3%	24.3%	27.4%	33.4%	40.4%	54.1%	93.1%	96.8%	98.2%	99.5%	99.9%	100.0%

（大学4年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	20.0%	4.0%	3.0%	5.9%	6.8%	13.9%	39.2%	3.8%	1.5%	1.3%	0.3%	0.1%
累積割合	20.0%	24.0%	27.0%	33.0%	39.8%	53.7%	92.9%	96.7%	98.3%	99.6%	99.9%	100.0%

（大学院2年生）

	9月以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	22.3%	4.2%	3.4%	6.3%	8.8%	12.1%	37.0%	3.3%	0.7%	1.0%	0.6%	0.1%
累積割合	22.3%	26.5%	29.9%	36.3%	45.1%	57.2%	94.3%	97.5%	98.2%	99.3%	99.9%	100.0%

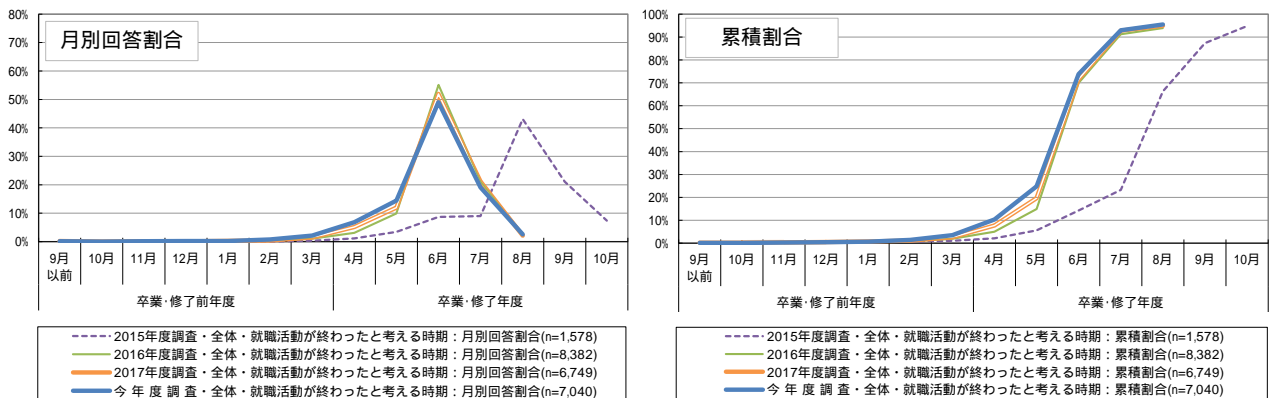


## 就職活動の終わりの時期についての認識

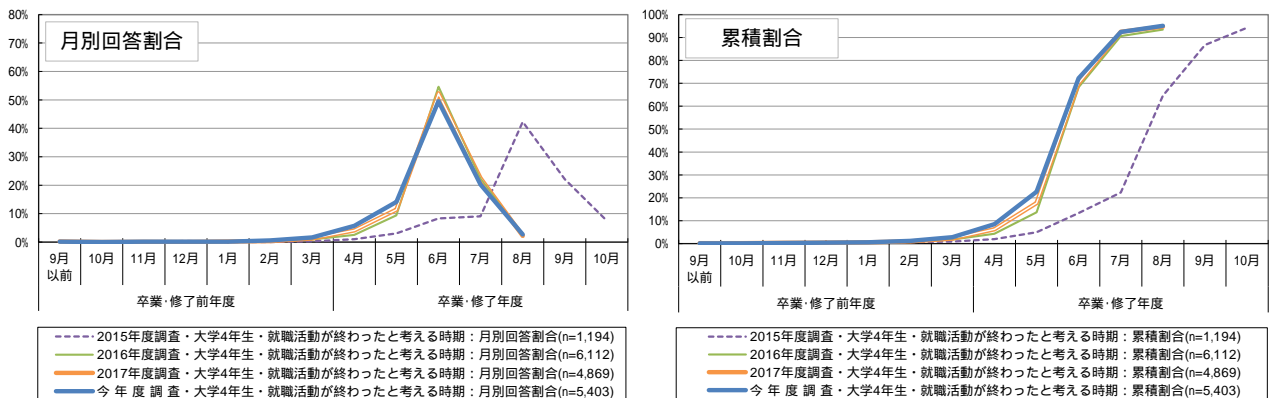
内々定を1社以上受けたと回答した者<sup>23</sup>にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、「2018年6月」との回答割合が約5割となっている。なお、累積割合<sup>24</sup>では、2018年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは約2割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査の結果は2017年度調査とほぼ同様であるが、今年度調査ではより早期の回答割合が若干高くなっている。

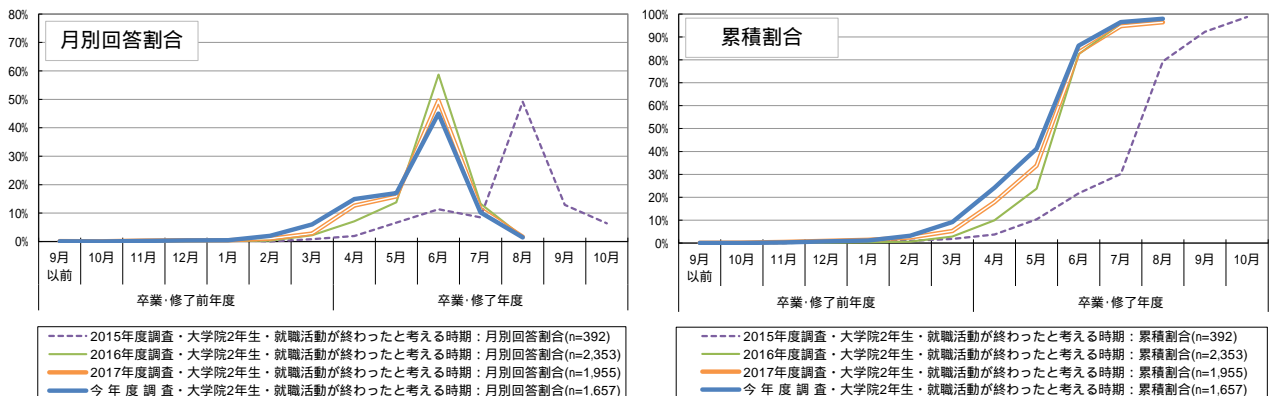
図表 3-7-3 就職活動が終わったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>23</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

<sup>24</sup> 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

図表 3-7-4 就職活動が終わったと考える時期（詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

	9月 以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.8%	2.1%	6.8%	14.5%	49.0%	19.1%	2.5%	4.5%
累積割合	0.1%	0.1%	0.3%	0.5%	0.7%	1.4%	3.5%	10.4%	24.8%	73.8%	92.9%	95.5%	

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

	9月 以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%	0.2%	0.6%	1.6%	5.7%	14.1%	49.5%	20.3%	2.7%	4.9%
累積割合	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.6%	1.2%	2.8%	8.5%	22.6%	72.2%	92.4%	95.1%	

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

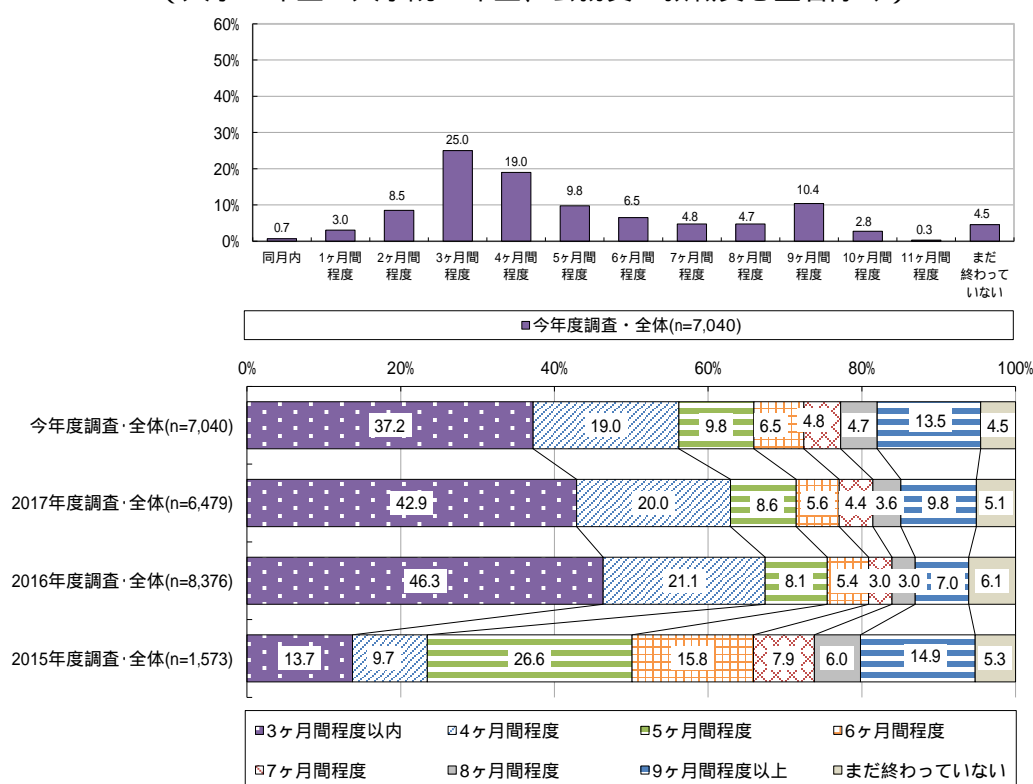
	9月 以前	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終 わって いない
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.2%	0.4%	0.4%	2.0%	6.0%	14.9%	17.0%	45.0%	10.3%	1.5%	2.1%
累積割合	0.1%	0.1%	0.3%	0.7%	1.2%	3.2%	9.2%	24.1%	41.2%	86.2%	96.4%	97.9%	

## 就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると<sup>25</sup>、「3ヶ月間程度<sup>26</sup>」の割合が最も高く、次いで「4ヶ月間程度」の割合が高くなっている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査では、「5ヶ月間程度」以上に該当する学生が約8割となっていたが、今年度調査ではその割合は約4割であり、より短い期間で就職活動を終えている傾向が見られる。ただし、2016年度調査・2017年度調査と比較すると、より短い期間で就職活動を終えている者の割合は若干減っている。

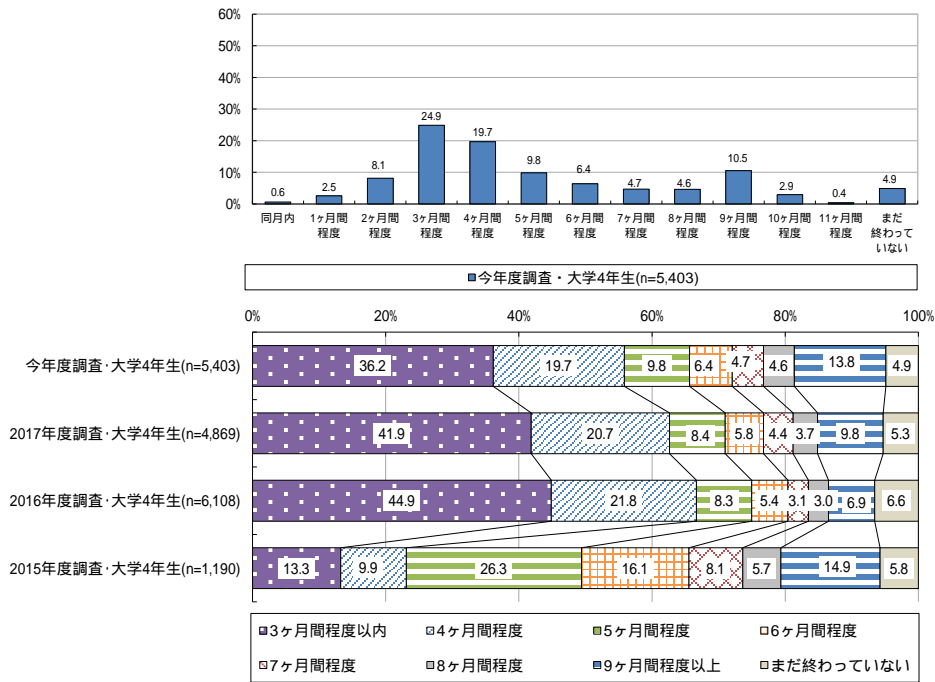
図表 3-7-5 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



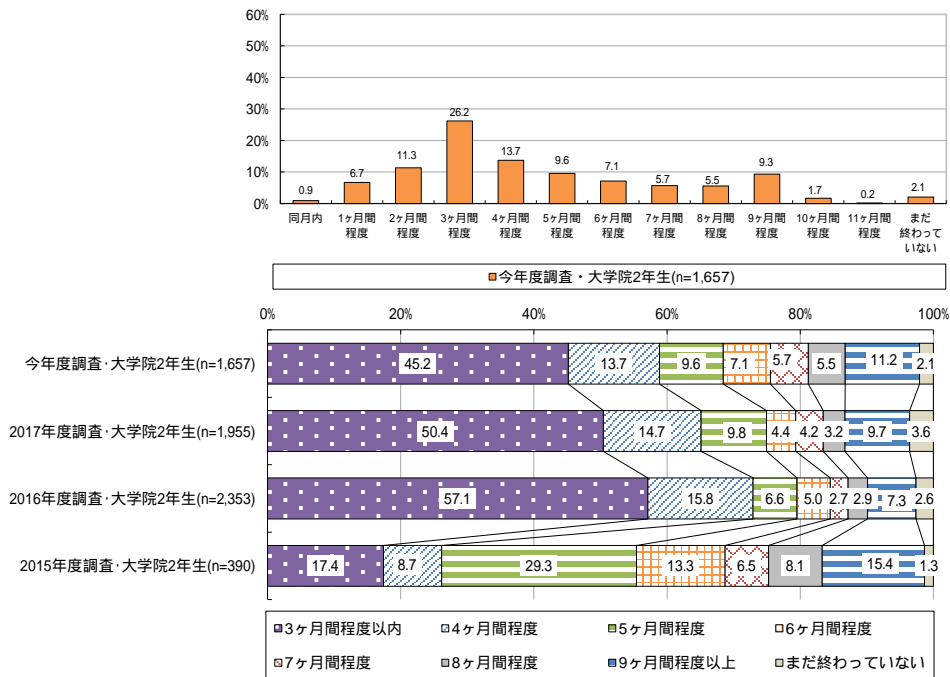
<sup>25</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

<sup>26</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヵ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

図表 3-7-6 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



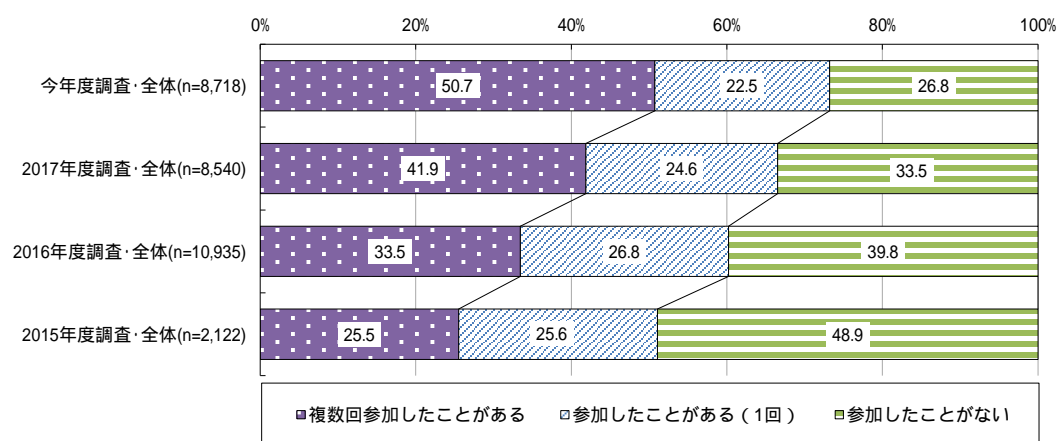
## (8) インターンシップの参加状況

### 参加の有無

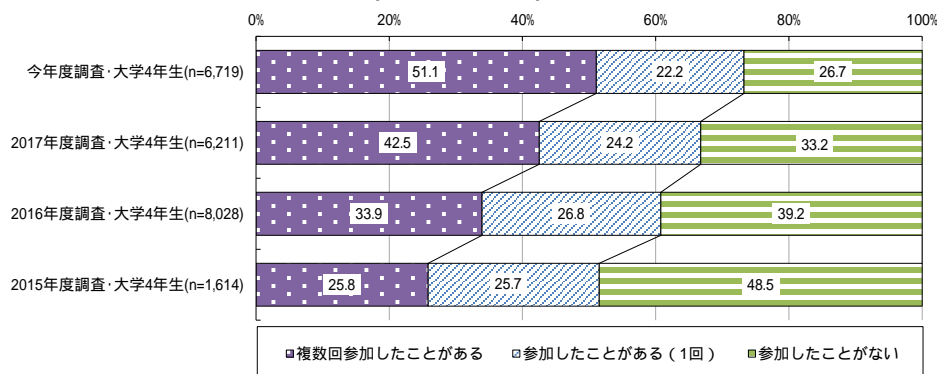
インターンシップ参加経験について、7割以上が「参加したことがある」と回答している。なお、約5割が「複数回参加したことがある」と回答している。

過年度調査と比較すると<sup>27</sup>、今年度調査では「参加したことがある」との回答割合が高くなっている。

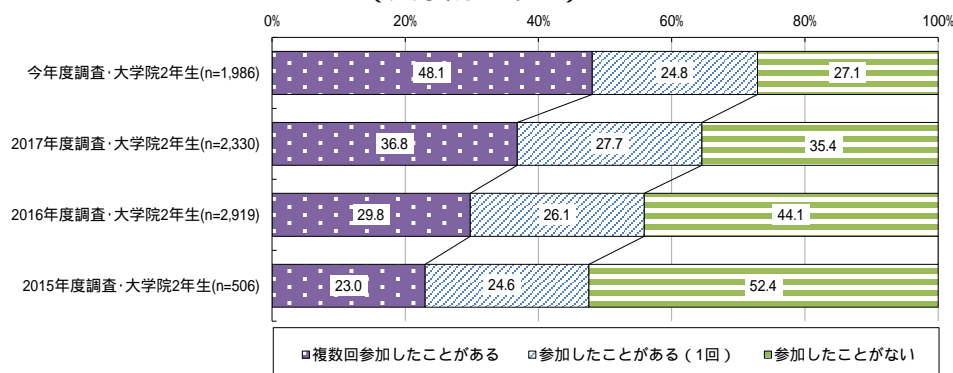
図表 3-8-1 インターンシップ参加経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



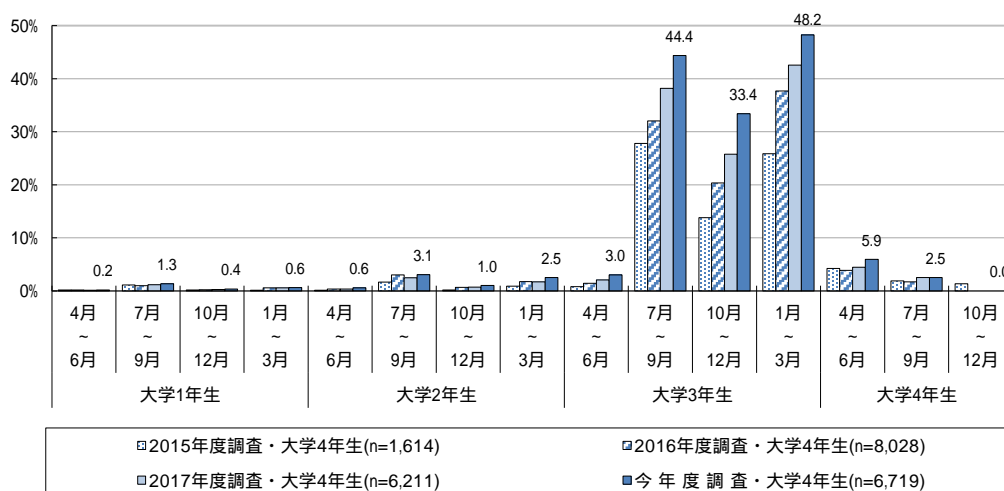
<sup>27</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

## 参加時期

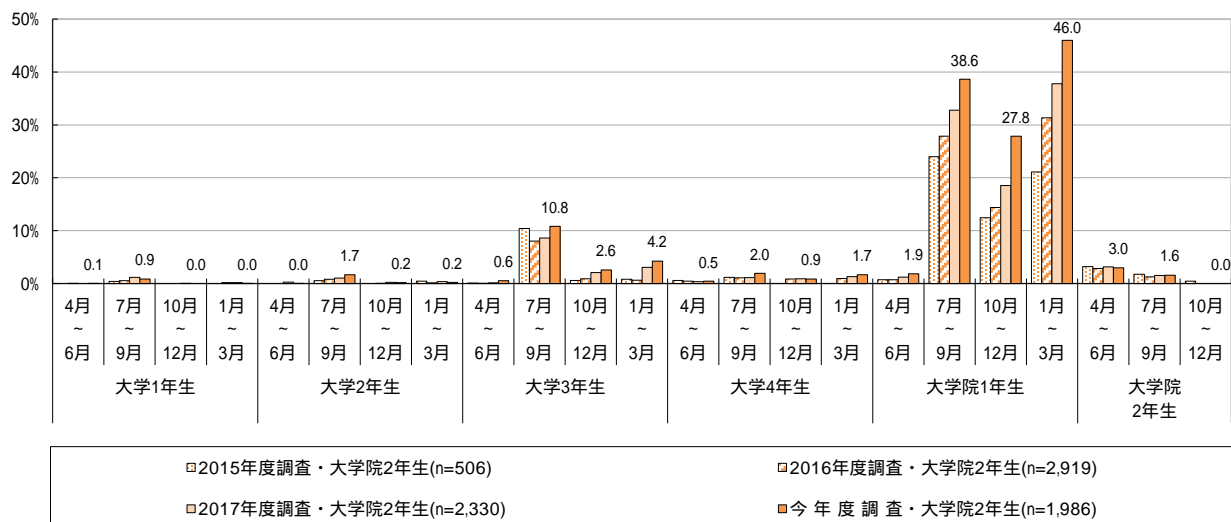
インターンシップ参加の時期について<sup>28</sup>、大学3年生・大学院1年生の「1月～3月」の参加割合が約5割で最も高く、次いで大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の割合が高くなっている。

過年度調査と比較すると<sup>29</sup>、回答の傾向は2016年度調査や2017年度調査と同様であるが、上記のそれぞれの時期において、今年度調査のほうがインターンシップに参加したと回答した割合が高くなっている。

図表 3-8-2 インターンシップ参加時期（複数回答）  
（大学4年生）



（大学院2年生）



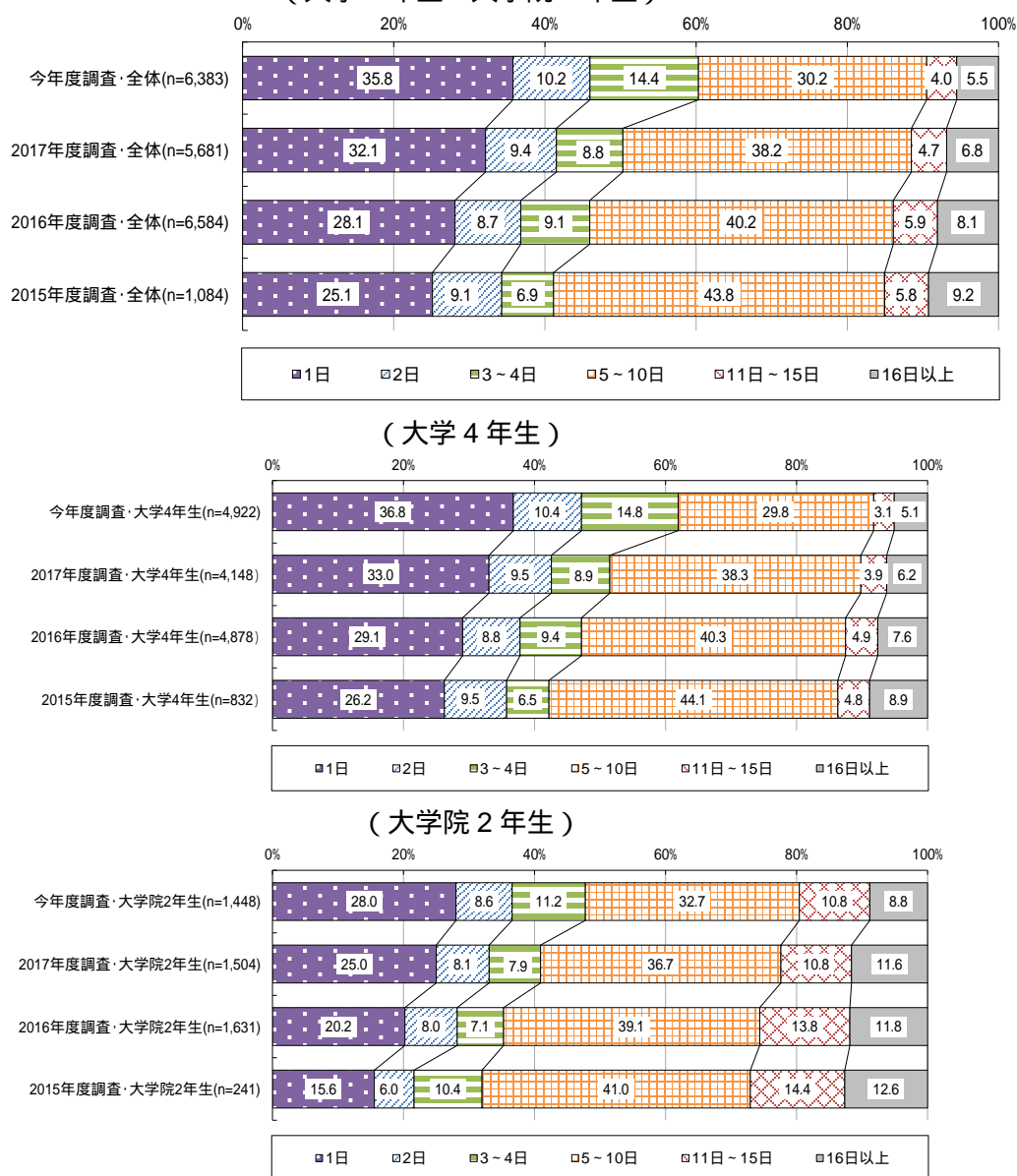
<sup>28</sup> ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

<sup>29</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

## 参加日数

参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」との回答割合が約4割で最も高くなっており、次いで「5～10日」の回答割合が高くなっている。  
過年度調査と比較すると<sup>30</sup>、今年度調査では「1日」の回答割合が高くなっている。

図表 3-8-3 インターンシップ参加日数  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>30</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

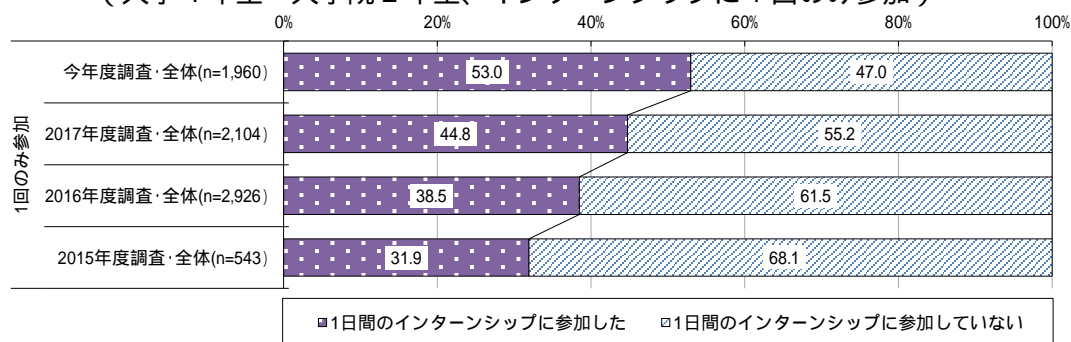
## 1日間のインターンシップ参加状況

インターンシップに1回のみ参加したことがある者、複数回参加したことがある者のそれぞれについて、1日間のインターンシップの参加状況<sup>31</sup>を集計すると、インターンシップに1回のみ参加したことがある者で1日間のインターンシップに参加したことがある割合は約5割であった。インターンシップに複数回参加したことがある者で1日間のインターンシップに参加したことがある割合は9割以上であった。

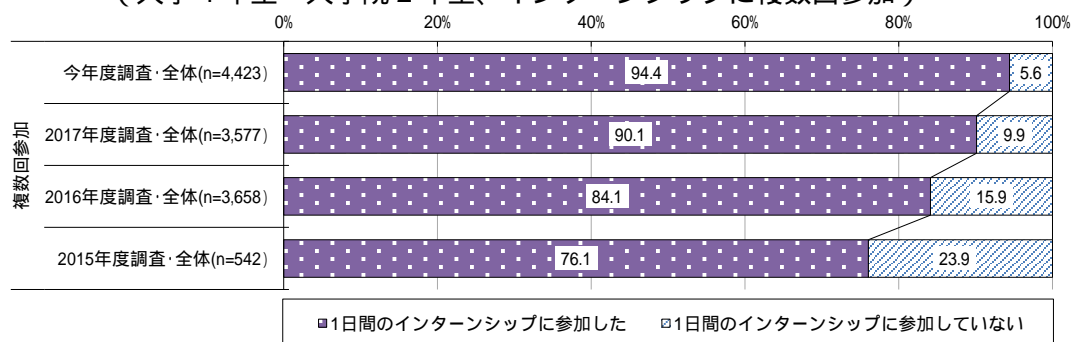
過年度調査と比較すると、インターンシップに1回のみ参加したことがある者、複数回参加したことがある者のいずれについても、今年度調査では1日間のインターンシップに参加した者の割合が高まっている。

なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、1日間のインターンシップへの参加回数が占める割合を集計すると、全体の約7割が1日間のインターンシップであった。2017年度に比べ、この割合は増加している<sup>32</sup>。

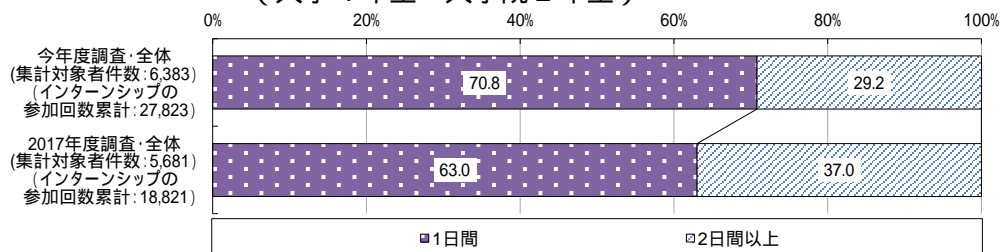
図表 3-8-4 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況  
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



図表 3-8-5 参加したインターンシップが1日間のインターンシップであった割合  
(インターンシップへの参加回数累計による集計)  
(大学4年生・大学院2年生)

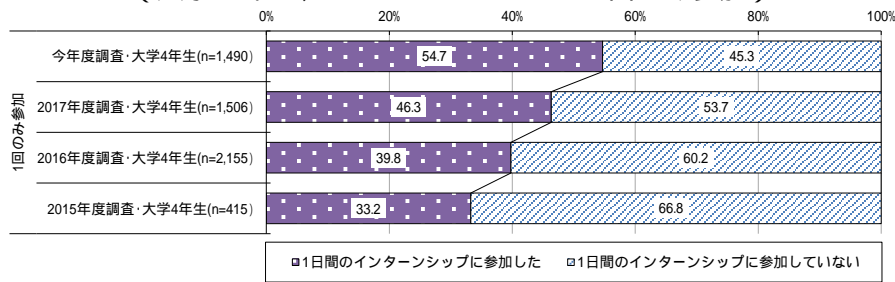


<sup>31</sup> 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には最短の日数に関して集計を行い、1日間のインターンシップの参加の有無について判断をした。

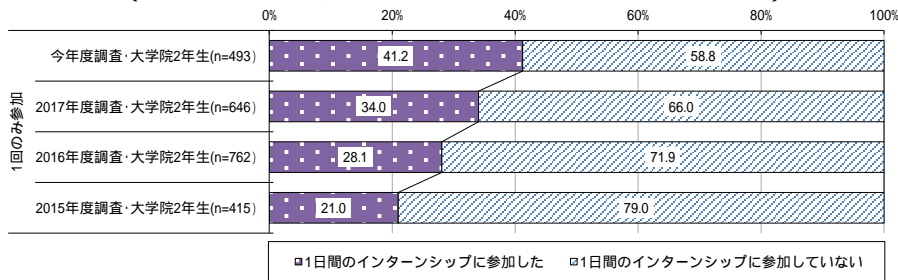
<sup>32</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。



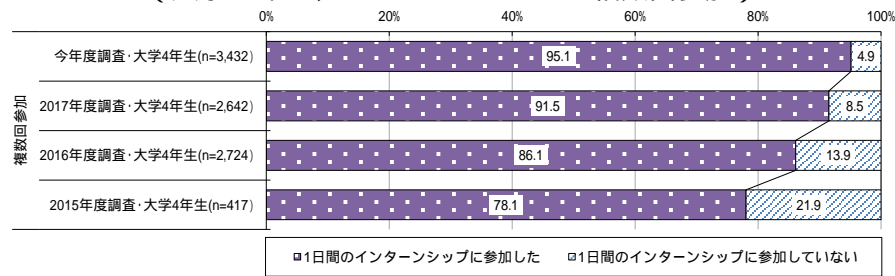
図表 3-8-6 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況  
(大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



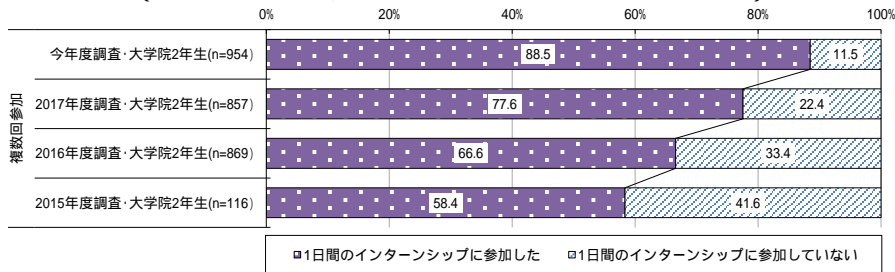
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

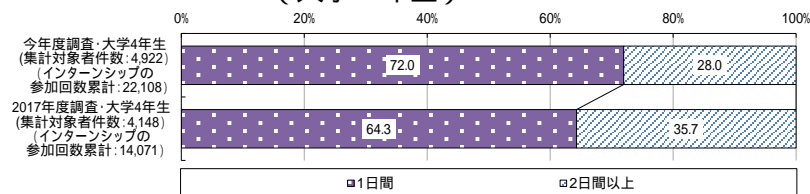


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

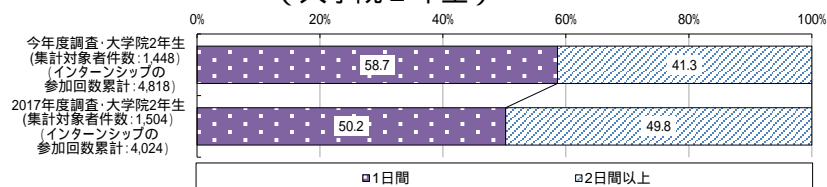


図表 3-8-7 参加したインターンシップが1日間のインターンシップであった割合  
(インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



(大学院2年生)

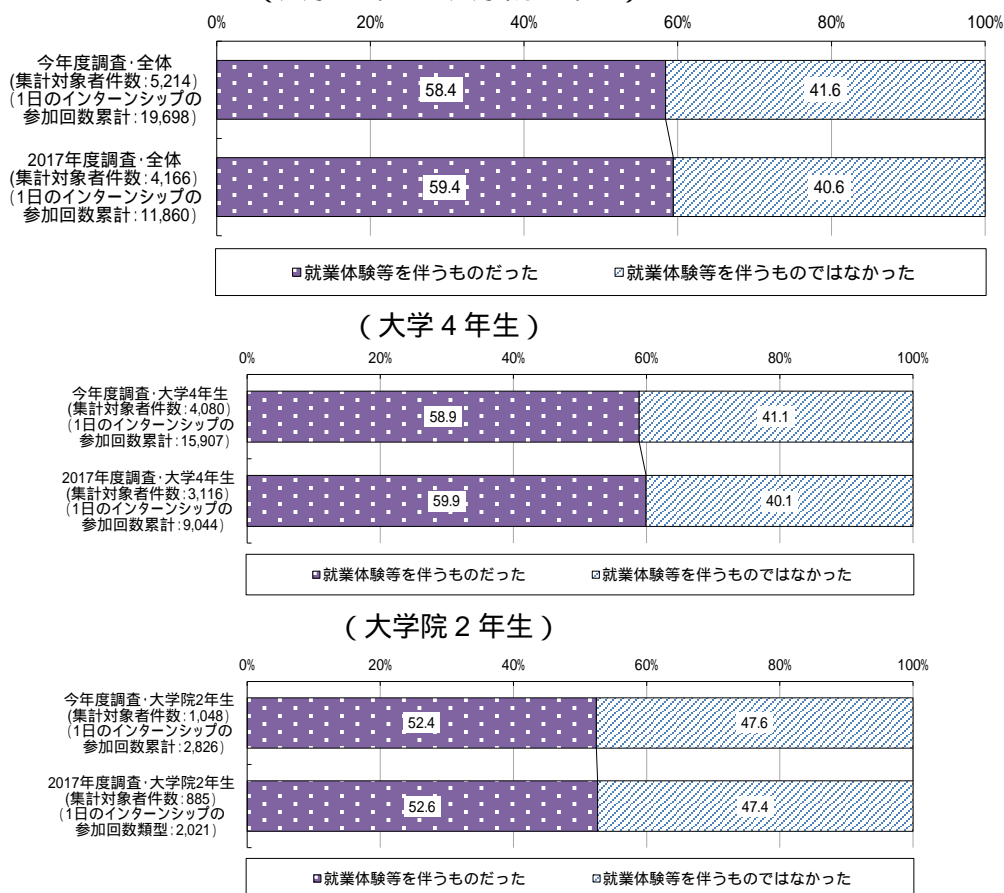


## 1日間のインターンシップの就業体験等との関係性

参加した1日間のインターンシップのなかで、就業体験等を伴っていなかったものの割合を集計すると<sup>33</sup>、約4割が就業体験等を伴わないものであった。

過年度調査と比較すると、2017年度調査と今年度調査とではほぼ同様の結果となっている<sup>34</sup>。

図表 3-8-8 1日間のインターンシップの就業体験等との関係性  
(1日間のインターンシップへの参加回数累計による集計)  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>33</sup> 1日間のインターンシップについて、例えば1回のみ参加の人、2回参加した人、3回参加した人がそれぞれ100人ずついた場合、全部で600回の1日間のインターンシップの機会のうち、就業体験等を伴うものが何回あったかの割合を集計した。

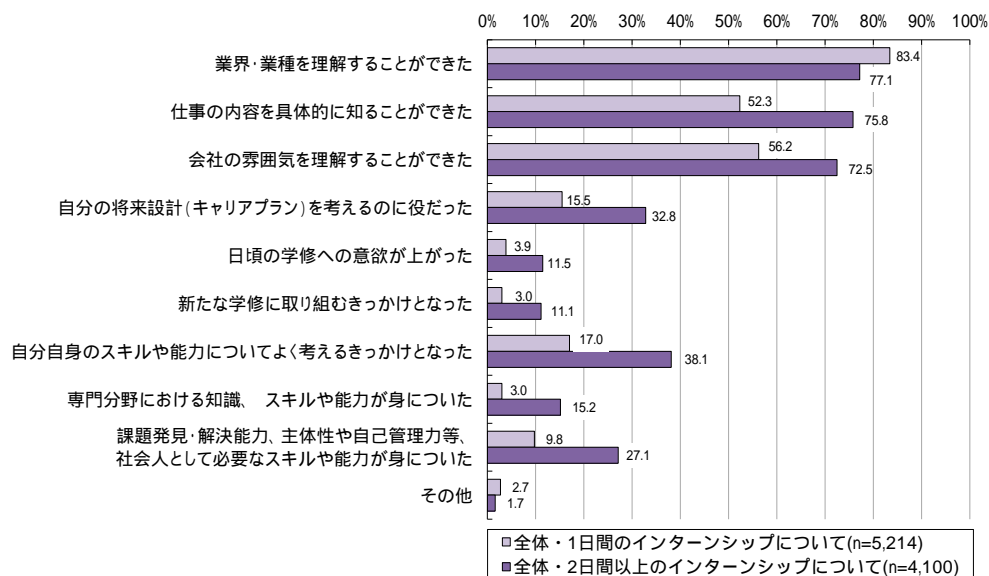
<sup>34</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## インターンシップの効果についての認識

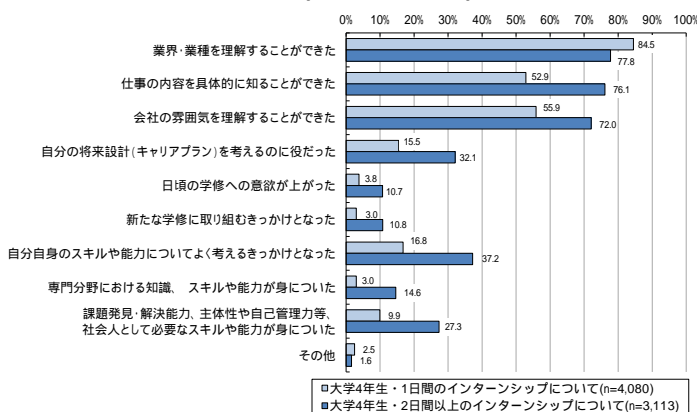
インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップの日数別に集計すると<sup>35</sup>、「1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」ともに、「業界・業種を理解することができた」との回答が約8割で最も高くなっている。

「仕事の内容を具体的に知ることができた」など、それ以外の点の効果については、「1日間のインターンシップ」に比べ「2日間以上のインターンシップ」の方が回答割合が高くなっている。

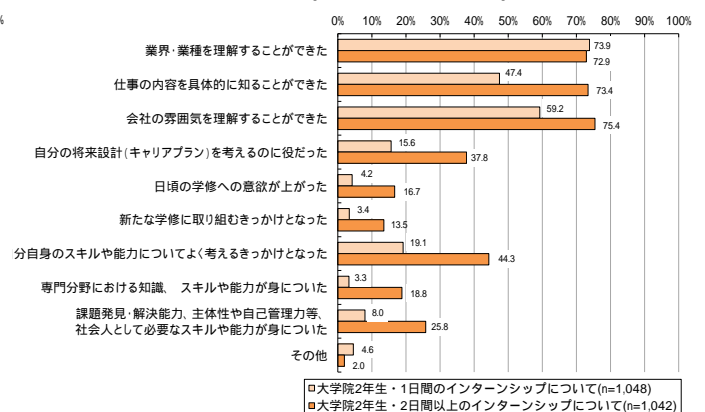
図表 3-8-9 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>35</sup> 「1日間のインターンシップについて」の集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、1日間参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも1日間であった」、「インターンシップに複数回参加して1日間のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。「2日間以上のインターンシップについて」の集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、2日間以上参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも2日間以上であった」、「インターンシップに複数回参加して2日間以上のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。インターンシップに複数回参加して1日間のものと2日間以上のものいずれにも参加したことがある場合は、参加したことがあるインターンシップについて「1日間であったもの」と「2日間以上であったもの」のそれぞれについて回答いただくように設問を設定した。